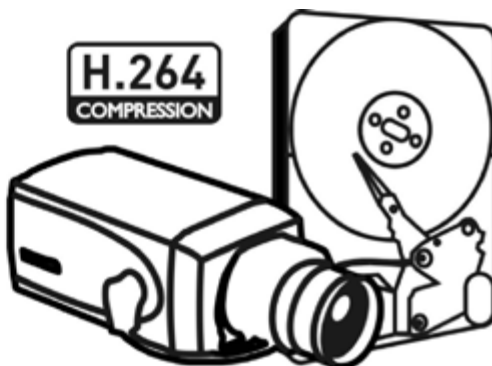


Premium Entry Level Real-Time DVR

取扱説明書

- H.264 スタンドアロン DVR
- 独立デュアルディスプレイ
- トリプルストリーミング
- オート IP 検出
- iPhone・Android サポート



Version:1.9.2

この製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
製品を快適にご使用頂くために、この取扱説明書を注意してお読みください。
また、後日もお使い頂けますように、本書を大切に保管してください。

著作権 / 認証 / 商標 / 限定保証

著作権

このマニュアルは著作権法により、事前の許可なしでいずれのコンテンツも転載や複写によるコピーは認められておりません。

Copyright2009 年～

認証

CE、FCC、KCC

商標

イーサネット(TM) は富士ゼロックス社の登録商標です。

マイクロソフト(TM)、Internet Explorer(TM)、および Windows2000(TM)、Windows XP(TM) は米国および他の国におけるマイクロソフト社の登録商標です。

QuickTime(TM) は米国および他の国におけるアップルコンピューター社の登録商標です。

限定保証

製造業者、輸入業者、および販売店は、偶発的な損害（損傷・負傷を含む）また不適切な使用や操作によって起こされた損害に、一切の責任を負いません。

この取扱説明書は、製品に関する現時点での仕様に基づいて記載されています。





現在、メーカーでは新機能を追加したり新技術によって製品をアップグレードさせています。全ての仕様はユーザーへの通知なしで変更する場合がございます。

警告

製品を適切に操作して頂くために、製品を操作する前にすべての安全上の警告事項をよくお読みください。

表示された警告は重大な安全情報を含んでいますので、完全に理解し従わなければなりません。

警告は Danger、Warning、Caution および Important に分類されます。

 Danger	死亡または大怪我（重傷）の危険性あり。 最大の危険警告です。
 Warning	損傷の危険性あり。 製品やその周囲の財産への物的損害をもたらす危険性あり。
 Caution	軽傷または損害の危険性あり。 操作に関する要件または制限。
 Important	お客様が怪我なく適切に製品を操作できますように関連詳細を 注意してお読みください。

上記の警告は、システムの不適当な使用のために起こるかもしれない損害の程度を示します。



死亡または大怪我（重傷）の危険性あり。
最大の危険警告です。

- 電池を交換する際に誤った種類のものと交換しますと、爆発する可能性があります。また、使用済みの電池は正しい方法に従って処分してください。
- この製品は室内で使用するために作られています。
- 取扱説明書または製品仕様書の中で示されている電源電圧でご使用ください。また、付属の電源ケーブル以外は使用しないでください。
- 感電の恐れがありますので、火や水の近くまたは湿気の多いところでは製品を使用しないでください。
- 電源ケーブルコードの上に重いものを置かないでください。電源ケーブルコードが損傷し発火や感電の原因となります。
- 製品の上に液体の入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、内部に入ると発火や感電、故障を引き起こす原因となります。
- 電源ケーブルコードを切りつける、曲げる、ねじる、引っ張る、または加熱するなどの行為はしないでください。電源ケーブルコードの損傷は発火と感電につながります。
- 製品の天板を取り除かないでください。感電する恐れがあります。内部検査やメンテナンスが必要な場合は、ご購入いただきました販売代理店に連絡してください。
- 分解や改造など、製品内部に手を加えないでください。発火や感電の原因となります。
- 異臭・発煙・異常音を感じた場合は、直ちにシステムをシャットダウンして、電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源を切らずに使い続けると、発火や感電する恐れがあります。ご購入いただきました販売代理店に連絡してください。
- 製品を落下させたり、破損させた場合は、直ちにシステムをシャットダウンして、電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源を切らずに使い続けると、発火や感電する恐れがあります。ご購入いただきました販売代理店に連絡してください。
- ぬれた手で製品に触れないでください。感電する恐れがあります。



損傷の危険性あり。
製品やその周囲の財産への物的損害をもたらす危険性あり。

- 電源ケーブルやコードなどは、足でひっかけるといった場所に配線しないでください。
つまづいて怪我をすることがあります。
- 水・飲料または液体との接触を避けてください。修理不可能な損傷をもたらす原因となります。
- 雷の時には、直ちにシステムをシャットダウンして、電源コードを電源コンセントから抜いてください。
製品の破損の原因になります。
- 電源が入った状態で外部装置を接続しないでください。製品またはカメラからの過度な電流により感電の恐れがあります。



軽傷または損害の危険性あり。
操作に関する要件または制限。

- 異物が製品についてしまった場合、やわらかい布切れを使用して取り除いてください。
異物を取り除くために化学薬品（シンナー、溶媒など）を使わないでください。
- 以下の場所に製品を設置したり、操作を行わないでください。
 - 極端に高温 / 低温、温度差が激しい場所
 - 湿度の高い場所またはエアコン付近、温度変化の激しい場所
 - ほこりの多い場所
 - 製品の上面や側面にある換気孔から放熱することができない場所
- クレジットカード / テレホンカード / 銀行預金口座通帳 / チケットなどの磁気特性のあるものを製品のそばに置かないでください。
- 静電気は製品の内部部品に損害をもたらす恐れがあります。リヤパネルと製品内部に触れる前に、身体から静電気を取り除いてください。
- この製品を処分する際は、各地域の産業廃棄物処分の規則にしたがって正しく処理してください。



お客様が怪我なく適切に製品を操作できますように関連詳細を
注意してお読みください。

- 電源が不安定な状態や感電が起こる状態では、製品は正常に作動しません。適切な定格出力であることをご確認ください。
- 製品は停電の際に設定を保持するように設計されていますが、停電による電源電圧変化などにより、製品データの破損などの損害を受ける可能性があります。データ保護や録画を正常に継続するには無停電電源装置（UPS）をご利用ください。
- 製品は、ビデオデータをハードディスクに録画できるように設計されていますが、ハードディスクやその他のエラーにより、適切に録画されない可能性があります。製品の定期的なメンテナンスを行ってください。
- 製品は使用者が設定を変更できるように設計されていますが、誤った設定を行うと誤動作をもたらすことがあります。
- 製品は公認された設置業者によってのみセットアップしてください。
- 製品が接続されてからの外部アクセサリ（カメラ、センサー、LAN、ハードディスクなど）の接続は、外部不良の誤動作のリスクを招きます。公認された設置業者によって定期メンテナンスを行ってください。
- 本製品では、1KB=1024B、1MB=1048576B、1GB=107370000B と換算して数値を表記しております。

目次

1. はじめに	8
1. システム	8
2. 一般的な特徴	8
3. 警告	9
4. 仕様	10
2. システム設定	12
1. 梱包内容	12
2. 接続デバイス	13
2-1. 4 チャンネルプレミアム DVR	13
2-2. 8/16 チャンネルプレミアム DVR	16
3. DVR の使用	18
1. 基本操作	18
1-1. フロントパネル	18
1-2. IR リモートコントローラ	19
1-3. システムの動作	20
1-4. メニューバー	20
1-5. ディスプレイアイコン	21
1-6. ユーザー / 管理者のログイン	22
1-7. メインメニュー	23
1-8. コンテクシャルメニュー	24
2. DVR 構成	25
2-1. システム	25
2-1-1. MENU > システム > 情報	25
2-1-2. MENU > システム > 日付・時間	26
2-1-4. MENU > SYSTEM > 簡単設定	28
2-1-5. MENU > システム > システムログ	28
2-2. デバイス	29
2-2-1. MENU > デバイス > カメラ	29
2-2-2. MENU > デバイス > 音声	30
2-2-3. MENU > デバイス > アラーム	31
2-2-4. MENU > デバイス > コントローラ	31
2-2-5. MENU > デバイス > RS232&RS485	31
2-3. ディスプレイ	32
2-3-1. MENU > ディスプレイ > 表示	32
2-3-2. MENU > ディスプレイ > VGA	32
2-3-3. MENU > ディスプレイ > CVBS	33
2-3-4. MENU > DISPLAY > デジタルサイネージ	34
2-4. 録画	35
2-4-1. MENU > 録画 > 記憶装置	35
2-4-2. MENU > 録画 > 録画	35

2-4-3. MENU > 録画 > 録画ツール	37
2-5. ネットワーク	38
2-5-1. MENU > ネットワーク > アドレス	38
2-5-2. MENU > ネットワーク > DDNS	38
2-5-3. MENU > ネットワーク > 遠隔通知	39
2-6. イベント	40
2-6-1. MENU > EVENT > センサー	40
2-6-2. MENU > イベント > モーション検知	41
2-6-3. MENU > イベント > ビデオロス	43
2-6-4. MENU > イベント > テキストイン	44
2-6-5. MENU > イベント > システム	46
2-6-6. ログアウト	47
2-6-7. シャットダウン	47
3. 録画再生	48
3-1. 時間指定	49
3-2. カレンダー検索	49
3-3. イベント検索	49
3-4. テキストイン検索	50
3-5. バックアップデータ再生	50
3-6. 再生コントロール	50
4. バックアップ	51
4-1. バックアップ	51
4-2. インスタントバックアップ	52
4-3. クリップ作成	52
5. ネットワーク監視 - Web Viewer	53
5-1. Web ビューアー	53
5-2. Login	53
5-3. ライブ	53
6. 再生	54
6-1. カレンダー検索	55
6-2. イベント検索	55
6-3. HDx ビューワー	56
6-3-1. クイックスタート	56
6-3-1- ① ライブ	56
6-3-1- ② 検索	59
6-3-2. セットアップ	60
6-3-3. サーバリスト表示	61
6-3-4. プログラムの終了/ボリューム/ PTZ コントロール/サーバー接続/切断	62
6-3-5. 分割画面、全表示画面、および切り替え	62
6-3-6. イベントログ画面	63
6-3-7. シングルチャンネルプレーヤー、ネットワーク画面、プリセット	63
6-3-8. 権限確認	64
6-3-9. スクリーンキャプチャー	64
6-3-10. サーバリスト	65
6-3-10- ① サーバー接続	66

6-3-10- ②	サーバー切断	67
6-3-10- ③	全サーバー接続	67
6-3-10- ④	ビデオ監視	68
6-3-10- ⑤	ビデオ監視しない	68
6-3-11.	サーバーリストの使用	68
6-3-12.	シングルチャンネルプレイヤー	69
6-3-13.	プリセット	69
6-3-14.	セットアップ	69
6-3-14- ①	ローカルセットアップ	70
6-3-14- ②	リモートセットアップ	70
6-3-15.	検索	70
6-3-16.	バックアップビューアー	71
6-4.	コールバックサーバー	75
6-4-1.	遠隔通知設定	75
6-4-2.	設定 (Set up)	78
6-4-3.	機能	79
付録 A.	DDNS	84
付録 B.	デジタルサイネージデータ作成	88
付録 C.	DigitalSignageMaker 使用方法	92
付録 D.	遠隔ライブ / 再生機能	98
付録 E.	スマートフォン (iPhone / Android) での閲覧について	108
	録画時間計算表	116

保証書

1. はじめに

1. システム

この製品をお買上げ頂きありがとうございます。

この製品は様々なお客様にご満足いただけるデザイン・仕様となっており、信頼できる DVR シリーズです。

2. 一般的な特徴

- ・ H.264 方式による標準ビデオ圧縮
- ・ Embedded Linux システムによる最高の信頼性
- ・ 安定性のための専用データベース構造
- ・ 多様なレコーディング解像度 D1/Half D1/CIF
- ・ CMS（中央監視システム）
- ・ CMS の DVR GUI による簡単なセットアップ
- ・ Web 監視、検索、およびセットアップ
- ・ バックアップ再生のための独自メディアプレイヤー
- ・ マウス操作、Multi USB ハブおよびバックアップのための 2 つの USB ポートを装備
- ・ 最高 2 台までの SATA HDD を内蔵可能
- ・ 2Way オーディオ（音声双方向）
- ・ 1 台の専用キーボードコントローラー（SC3100）によって複数 DVR を操作可能
- ・ ASCII テキストインとリレー出力をサポート
- ・ リアルタイムレコーディングとマルチチャンネル再生
- ・ トリプルストリーミング / デジタルズーム
- ・ iPhone、Android サポート
- ・ 独立したデュアルディスプレイ
- ・ UPnP サポート

デュアルディスプレイは、ユーザーが違うディスプレイオプションによって VGA 出力と CVBS 出力または両方を同じように使うことを可能にします。また、1 つのモニタの上のライブ監視と別のモニタの上の再生を同時に表示させてコントロールすることができます。

注意：このマニュアルは 4 チャンネル、8 チャンネルおよび 16 チャンネルの E モデル DVR に対応します。

DVR はカメラ、音声入力、およびアラームの数を除いて同一です。このマニュアルの中の GUI 説明と説明は 16 チャンネルモデルに基づきます。

なお、4 チャンネルモデルにはビデオ入力に対するスルー出力機能はありません。スルー出力は 8 チャンネルおよび 16 チャンネルのための機能です。（ケーブルオプション）

3. 警告

- ・日光が直射当たる場所や発熱体から近い場所への製品の設置は避けてください。（出火の原因となります）
- ・製品の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬、また液体を入れた入れ物などを置かないでください。（落下により、出火、感電、または人・物に障害を与える恐れがあります）
- ・どのような金属物（コイン、ヘアピン）や可燃物（マッチ、紙）でも通気孔に挿入したり落としたりしないでください。（出火や感電を引き起こす原因となります）
- ・製品の上に重い物を置かないでください。（落下や破壊によって人・物に損傷を負わせる原因となります）
- ・電源プラグを動かないようにしっかりと差し込んでください。（出火の原因となります）
- ・稲妻や雷が鳴っている場合、システムをシャットダウンしてください。（雷の影響を受ける場合があります）
- ・製品をクリーニングする時は、乾いたタオルで表面を拭いてください。化学薬品やクリーナーを使用すると色が変色したり塗料が剥げる恐れがあります。
- ・一度にいくものプラグをタコ足配線で使用しないでください。（感電の恐れがあります）煙または異臭を感じた場合、操作をお止めください。この場合、直ぐに電源を切りプラグを抜いてください。その後、ご購入頂きました販売代理店もしくはサービスセンターにご連絡ください。（そのまま引き続きご使用になりますと、出火や感電の原因となります）
- ・コードを引っ張ってプラグを抜かないでください。（コードが破損する恐れがあり、出火や感電を起こす場合があります）
- ・濡れた手でプラグを抜いたり差し込んだりしないで下さい。（感電の原因となります）
- ・電源コードをねじったりしないで下さい。（出火や感電を引き起こす原因となります）
- ・適切なアダプターをご使用下さい。（あまりに多くの電力を使用しますと、出火や感電を引き起こす原因となります）
- ・雨風が当たる場所に設置しないで下さい。（出火、感電、またその他の故障の原因となります）
- ・火、また出火しやすい場所から離してください。（出火の原因となります）
- ・分解や改造などはしないで下さい。（感電や故障の原因となります）
- ・可燃性スプレーのような可燃性のものを側に置かないで下さい。（出火の原因となります）
- ・ほこりの多い場所に設置しないで下さい。（出火の原因となります）
- ・揺らぐテーブル上や傾斜場所のような不安定な場所に設置をしないで下さい。（落下により人・物に障害を与える危険性があります）
- ・重い物を電源コードの上に置いたり、またデバイスの圧迫にもご注意下さい。（出火や感電の原因となります）
- ・エクステンションコードをご使用になる時は、同時に数台のデバイスのご使用は避けて下さい。（異常な加熱により発火する恐れがあります）
- ・電源プラグピンまたはコンセントの上に土ぼこりがあるときには、丁寧に掃除して下さい。（出火の原因となります）
- ・電源コードやプラグを、曲げたり、ねじったり、または引っ掛けたりしないで下さい。また、熱い場所に置かないで下さい。コンセントが挿入部分がピッタリと入らない場合は、使用しないで下さい。（出火や感電の原因となります）
- ・製品を落下させたり衝撃を与えたりしないで下さい。（人に障害を与えたり、製品の故障の原因となります）
- ・電源アダプターまたは信号コントローラーに触れないで下さい。（感電する恐れがあります）
- ・冷却用ファンの開口部を塞がないで下さい。（発火の原因となります）
- ・不適当な電池交換をしますと、爆発する危険性があります。
- ・ご使用済の電池は、正しい方法により処分して下さい。
- ・幼児が間違って電池を口にしない様に、気を付けて下さい。（もし幼児が電池を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師にご連絡して下さい）

4. 仕様

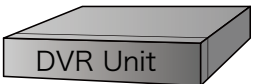




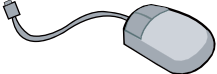

モデル		4 チャンネルプレミアム DVR HDF1212E
ビデオ	入力	4 BNC (ループスルー端子はありません)
	出力	1 VGA、1 CVBS (デュアルディスプレイ)
オーディオ	入力	4 RCA (ラインイン)
	出力	1 RCA (ラインアウト)
機器	センサー入力	4 TTL (3+ 緊急録画)
	アラーム出力	2 TTL
	I/O インタフェース	RS232、RS485、USB x 2
表示	スピード	リアルタイム
	解像度	720 x 480 (NTSC)、720 x 576 (PAL)
	分割画面	1、4、PIP、デジタルズーム
録画	圧縮	H.264 Codec
	スピード / 解像度	120fps@CIF (NTSC) 100fps@CIF (PAL) 120fps@HalfD1 (NTSC) 100fps@HalfD1 (PAL) 60fps@D1 (NTSC) 50fps@D1 (PAL)
	画質	最高、高、標準、最低
再生	モード	連続、イベント、時間 & イベント、緊急事態 (E.REC)
	ディスプレイ	1、4、デジタルズーム
	検索モード	カレンダー検索、イベント検索、テキストイン検索、時間指定
	再生モード	Multi チャンネル正 & 逆転再生 RW&FF (x2、x4、x8、x16、x32)、フレーム再生、一時停止
ネットワーク	インタフェース	イーサネット (10/100BASE)
	プロトコル	TCP/IP、HTTP、DHCP、ADSL (PPPoE)、RTP/RTSP、UPnP
	アプリケーション	ライブ、再生、セットアップ、通知 (コールバック、電子メール)
	Web ブラウズ	Internet Explorer7 以上
	モバイルサポート	iPhone、Android
ストレージ		2 x SATA HDD
バックアップ		外付 HDD (USB)、外部 USB メモリー
コントロール		フロントパネルボタン、USB マウス、 IR リモートコントローラ、ジョイスティックコントローラ (別売)
OSD		グラフィックユーザーインターフェイス (多言語)
承認		FCC、CE、KCC
ROHS		ROHS (CE)
電力消費量		DC12V、3.33A (40W)
動作温度		5°C ~ 40°C
動作湿度		0% ~ 80% RH
サイズ		340(幅)×67(高さ)×267(奥行き)mm
重量		2Kg (HDD なし)

モデル		8 チャンネルプレミアム DVR	16 チャンネルプレミアム DVR
ビデオ	入力	8 BNC (ループオプション)	16 BNC (ループオプション)
	出力	1 VGA、1 CVBS (デュアルディスプレイ)	
オーディオ	入力	8 RCA (ラインイン) - オプション	
	出力	1 RCA (ラインアウト)	
機器	センサー入力	4 TTL (3+ 緊急録画)	
	アラーム出力	2 TTL	
	I/O インタフェース	RS232、RS485、USB x 2	
表示	スピード	リアルタイム	
	解像度	720 x 480 (NTSC)、720 x 576 (PAL)	
	分割画面	1、4、6、9、PIP、 デジタルズーム	1、4、6、8、9、13、16、PIP、 デジタルズーム
録画	圧縮	H.264 Codec	
	スピード / 解像度	240fps@CIF (NTSC) 200fps@CIF (PAL) 240fps@Half D1 (NTSC) 200fps@Half D1 (PAL) 120fps@D1 (NTSC) 100fps@D1 (PAL)	480fps@CIF (NTSC) 400fps@CIF (PAL) 240fps@Half D1 (NTSC) 200fps@Half D1 (PAL) 120fps@D1 (NTSC) 100fps@D1 (PAL)
	画質	最高、高、標準、最低	
	モード	連続、イベント、時間 & イベント、緊急事態 (E.REC)	
	再生	1、4、6、9、デジタルズーム	
再生	ディスプレイ	1、4、6、9、デジタルズーム	1、4、6、8、9、13、16、デジタルズーム
	検索モード	カレンダー検索、イベント検索、テキストイン検索、時間指定	
	再生モード	Multi チャンネル正 & 逆転再生、 RW&FF (x2、x4、x8、x16、x32)、フレーム再生、一時停止	
ネットワーク	インタフェース	イーサネット (10/100BASE)	
	プロトコル	TCP/IP、HTTP、DHCP、ADSL (PPPoE)、RTP/RTSP、UPnP	
	アプリケーション	ライブ、再生、セットアップ、通知 (コールバック、電子メール)	
	Web ブラウズ	Internet Explorer7 以上	
	モバイルサポート	iPhone、Android	
ストレージ		2 x SATA HDD	
バックアップ		外付 HDD (USB)、外部 USB メモリー	
コントロール		フロントパネルボタン、USB マウス、 IR リモートコントローラ、ジョイスティックコントローラ (別売)	
OSD		グラフィックユーザーインターフェイス (多言語)	
承認		FCC、CE、KCC	
ROHS		ROHS (CE)	
電力消費量		DC12V、3.33 (40W)	
動作温度		5°C ~ 40°C	
動作湿度		0% ~ 80% RH	
サイズ		340(幅)×67(高さ)×267(奥行き)mm	
重量		2Kg (HDD なし)	

2. システム設定

1. 梱包内容

以下の部品が製品に含まれています。

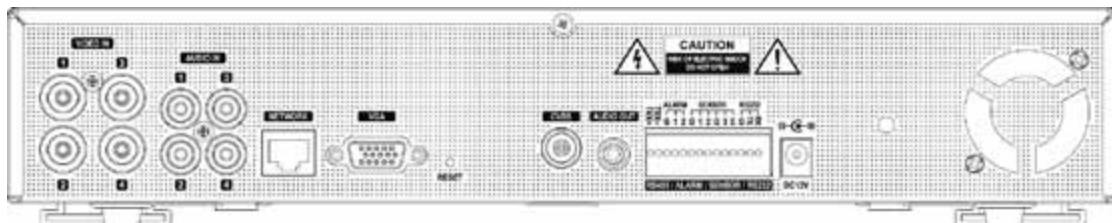
名称	内容
本体	
アダプター	
電源コード	
IR リモートコントローラー	
取扱説明書	
マウス	
CD-ROM	

注意：パッケージに含まれているカスタマーカードに書かれているインターネットアドレスから取扱説明書とリモートクライアントソフトウェアをダウンロードできます。

2. 接続デバイス

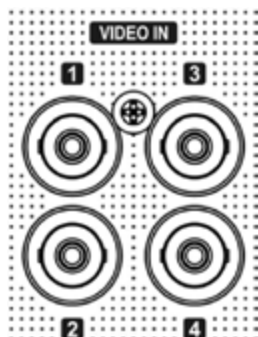
2-1. 4 チャンネルプレミアム DVR

4 チャンネルプレミアム DVR のリヤ・パネルは以下のようになっています。



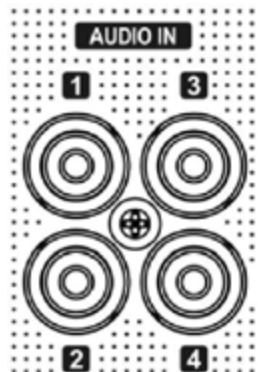
- ・ **Front USB** : フロントパネル上に2つのUSBポートがあります。バックアップに対するHDDやFlashメモリー、システム・アップグレードのためのUSBデバイスまたはUSBマウスのような外部装置をつなぐためのUSBポートです。

ビデオ入力



カメラからの同軸ケーブルを BNC コネクタで接続してください。

音声入力



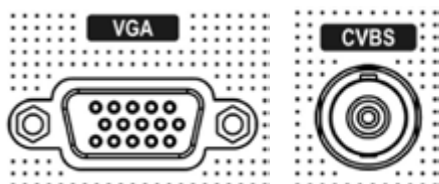
DVR は4つのソースまでオーディオを記録することができます。オーディオのソースをオーディオ入力の RCA コネクタと接続してください。全チャンネルに外部プリアンプ（増幅器）が必要です。

音声出力



DVR は増幅された音声出力を持っていません。スピーカーには増幅器が別途必要です。

ビデオ出力



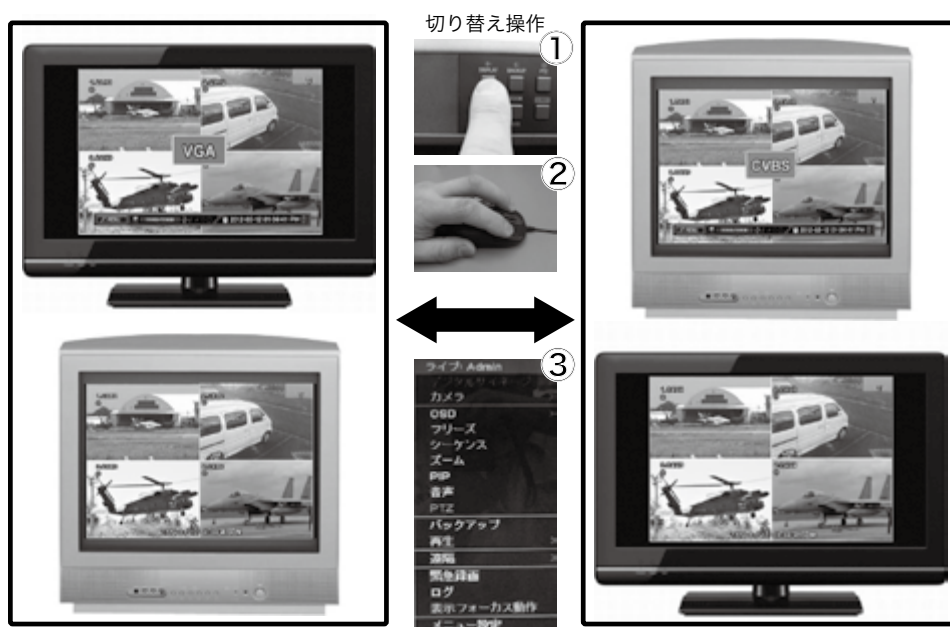
モニタを VGA と CVBS コネクタと接続してください。

デュアルディスプレイは、ユーザーが違うディスプレイオプションによって VGA と CVBS アウトプットの両方を使うことを可能にします。2つの異なる個々のディスプレイモードが各モニタアウトプットに設定できます。また、1つのモニタの上のライブ監視と別のモニタの上の再生を同時に表示してコントロールすることができます。ユーザーの監視のために高い柔軟性と効率を持つ機能です。

注意：システムが起動する時に、VGA モニタは主要なモニタとなります。別のモニタ（CVBS）をコントロールするには、以下の後続コントロールオプションのうちの3つからの方法で切り替え操作してください。

1. DVR フロントの DISPLAY ボタンを3秒間押し続けてください。押すたびにモニターが切り替わります。
2. マウスの左右ボタンを同時にクリックしてください。押すたびにモニターが切り替わります。（2-3-1. MENU > ディスプレイ > 表示の「メニュー画面切り替え（マウス）」の設定状態に依存します。）
3. GUI のコンテクシュアルメニュー上の、「表示フォーカス動作」を選んでください。押すたびにモニターが切り替わります。

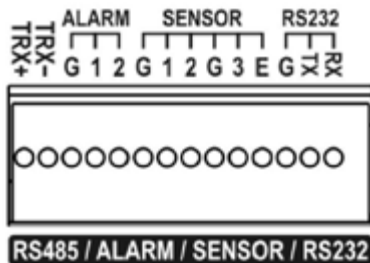
独立なデュアルディスプレイ / コントロールのオプションについては次ページの組み合わせセリストを参照してください。



※主要なモニタ側にメニューバーが表示されます。

VGA モニタ	CVBS モニタ
ライブ	ライブ (○)
	再生 (○)
	PTZ (○)
	デジタルサイネージ (○)
再生	ライブ (○)
	再生 (×)
	PTZ (○)
	デジタルサイネージ (×)
PTZ	ライブ (○)
	再生 (○)
	PTZ (○)
	デジタルサイネージ (○)
デジタルサイネージ	ライブ (○)
	再生 (×)
	PTZ (○)
	デジタルサイネージ (○)

RS485/ アラーム / センサー



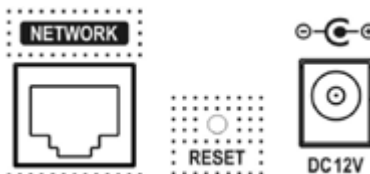
RS485 コネクタは、PTZ カメラをコントロールしたり DVR をコントロールキーボードによってリモートコントロールすることができます。

2つの警報出力コネクタが、サイレンまたはライトなどの外部アラームを接続するために提供されます。警報出力コネクタは 5V TTL 信号です。リレー接点や無電圧接点ではありませんのでご注意ください。

3つのセンサーインプットと1つの緊急センサーインプットコネクタが、外部装置を接続するために提供されます。DVR でイベント信号を受けるためにセンサーを使うことができます。緊急センサーは緊急レコーディングのみのために使用されます。それが引き起こされる時に、緊急レコーディング設定で動作します。

RS-232C コネクタは、テキストインの機能のために ATM または POS の機器を接続するように提供されます。ターミナルブロックに接続するには上のボタンを押しながら下の穴にケーブルを挿入してください。ボタンを離したらケーブルを軽く引いて正しくロックされていることを確認します。ケーブルを外すには、上のボタンを押しながらケーブルを引き抜いてください。

ネットワーク / リセット / 電源



・ **ネットワーク**：リモートモニター、リモート再生、リモートセットアップのために Cat5 ケーブルを RJ-45 コネクタで接続してください。

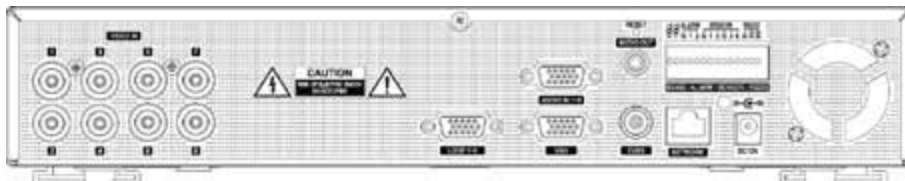
・ **リセット**：DVR の全ての設定を工場出荷時設定に戻すためのリセット・スイッチがありますがご使用にならないでください。DVR が初期設定値になるまでリセット穴に真っすぐにしたペーパーリップなどを挿し続けると DVR ユニットをリセットするパスワードを入力する必要があります。株式会社店舗ブランニングは、このパスワードを公開提供しません。あらかじめご了承ください。

・ **電源コネクタ**：リヤ・パネルの電源コネクタに同梱の DC アダプタ (DVR 専用品) を接続してください。
(電圧は 100V ~ 240V、50/60Hz)

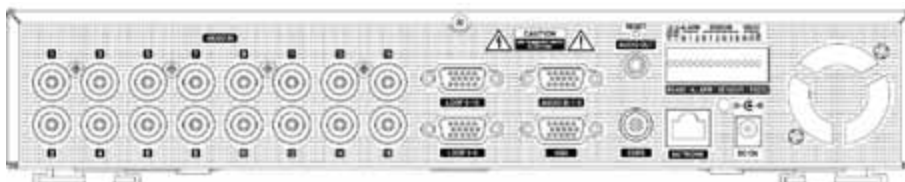
2-2. 8/16 チャンネルプレミアム DVR

8/16 のチャンネルプレミアム DVR のリヤ・パネルは以下のようになっています。

[8 チャンネルプレミアムモデル]

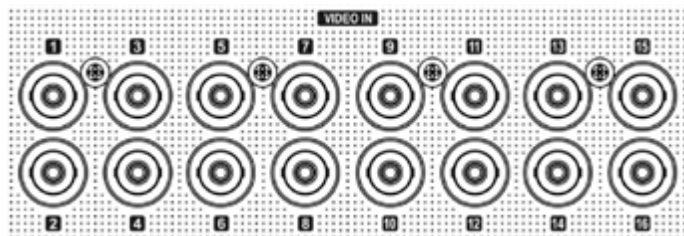


[16 チャンネルプレミアムモデル]



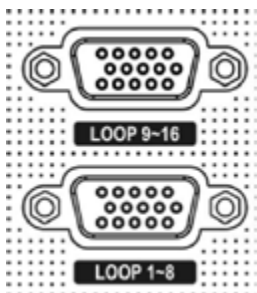
・ **フロント USB** : フロントパネル上に2つの USB ポートがあります。バックアップに対する HDD (推奨品に限る) や Flash メモリー、システム・アップグレードのための USB デバイスまたは USB マウスのような外部装置をつなぐための USB ポートです。

ビデオ入力



カメラからの同軸ケーブルを BNC コネクタで接続してください。

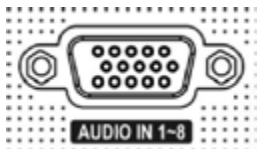
ループスルー出力



カメラからの映像（同軸ケーブル）をループスルーコネクタから別の機器と接続するための端子です。

注：ループスルーコネクタは専用の追加オプションハーネスケーブルが必要となります。

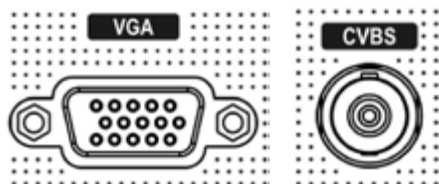
音声入力



DVR は8つのソースまでオーディオを記録することができます。オーディオのソースをオーディオ入力のマルチコネクタと接続してください。全チャンネルに外部プリアンプ（増幅器）が必要です。

注：オーディオ入力には専用の追加オプションハーネスケーブルが必要となります。

ビデオ出力

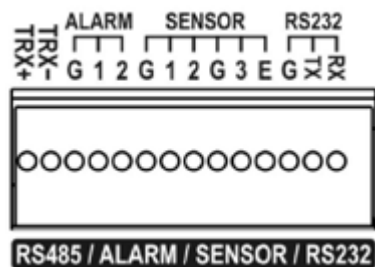


モニタを VGA と CVBS コネクタと接続してください。

デュアルディスプレイは、ユーザーが違うディスプレイオプションによって VGA と CVBS アウトプットの両方を使うことを可能にします。2つの異なる個々のディスプレイモードが各モニタアウトプットに設定できます。また、1つのモニタの上のライブ監視と別のモニタの上の再生を同時に表示してコントロールすることができます。ユーザーの監視のために高い柔軟性と効率を持つ機能です。

注：システムが起動する時に、VGA モニタは主要なモニタとなります。別のモニタ（CVBS）をコントロールするには、以下の後続コントロールオプションのうちの3つからの方法で切り替え操作してください。

1. DVR フロントの DISPLAY ボタンを3秒間押し続けてください。
2. マウスの左右ボタンを同時にクリックしてください。（2-3-1.MENU >ディスプレイ>表示の「メニュー画面切り替え（マウス）」の設定状態に依存します。）
3. GUI のコンテクシャルメニュー上の、「表示フォーカス動作」を選んでください。



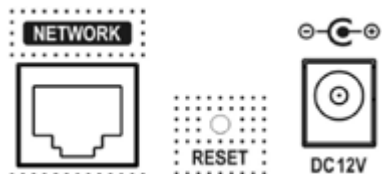
RS485/ アラーム / センサー

RS485 コネクタは、PTZ カメラをコントロールしたり DVR をコントロールキーボードによってリモートコントロールすることができます。

2つの警報出力コネクタが、サイレンまたはライトなどの外部アラームを接続するために提供されます。警報出力コネクタは 5V TTL 信号です。リレー接点や無電圧接点ではありませんのでご注意ください。3つのセンサーインプットと1つの緊急センサーインプットコネクタ

が、外部装置を接続するために提供されます。DVR でイベント信号を受けるためにセンサーを使うことができます。緊急センサーは緊急レコーディングのみのために使用されます。それが引き起こされる時に、緊急レコーディング設定で動作します。RS-232C コネクタは、テキストインの機能のために ATM または POS の機器を接続するように提供されます。ターミナルブロックに接続するには上のボタンを押しながら下の穴にケーブルを挿入してください。ボタンを離したらケーブルを軽く引いて正しくロックされていることを確認します。ケーブルを外すには、上のボタンを押しながらケーブルを引き抜いてください。

ネットワーク / リセット / 電源



- ・ **ネットワーク**：リモートモニター、リモート再生、リモートセットアップのために Cat5 ケーブルを RJ-45 コネクタで接続してください。
- ・ **リセット**：DVR の全ての設定を工場出荷時設定に戻すためのリセット・スイッチがありますがご使用にならないでください。リセットパスワードを株式会社店舗プランニングは公開提供しません。

- ・ **電源コネクタ**：リヤ・パネルの電源コネクタに同梱の DC アダプタ（DVR 専用品）を接続してください。（電圧は 100V ～ 240V、50/60Hz）

3. DVR の使用

1. 基本操作

1-1. フロントパネル

DVR は操作する前に正しく設置して下さい。

E モデル DVR は、全モデルで同一のボタン配置となっております。



DISPLAY : 現在画面または再生画面でスクリーン表示モードを変更します。(PTZ 機能時のフォーカス動作)

BACKUP : 外部記憶装置 (USB フラッシュメモリ) に録画データをバックアップします。(PTZ 機能時のフォーカス動作)

PTZ : ライブモードから PTZ 制御モードを変更します。
(PTZ 機能時のズームアウト動作)

LOG : システムログ画面を表示します。(PTZ 機能時のズームイン動作)

PLAYBACK : ライブモードから再生モードへ変更します。
(PTZ 操作時のプリセット設定操作)

ZOOM : 画面上で現在画面をデジタルズーム表示します。(PTZ 操作時のプリセット呼出操作)

E.REC : イベント>センサー>エマージェンシーで指定したカメラチャンネルが緊急録画 (E.REC) モードで録画されます。E.REC 中は表示アイコンが! 付きの丸印となり、もう一度 E.REC ボタンを押すと E.REC は解除され通常の録画モードに復帰します。(このボタンと背面エマージェンシー入力は同意となります)

MENU : セットアップメニューを表示します。Menu ボタンを押してセットアップを行う場合はパスワードを入力する必要があります。Playback (再生) モードから MENU ボタンを押すと Playback Menu を表示します。



UP,DOWN/LEFT/RIGHT/ENTER ボタン:

方向操作と単画面表示のライブチャンネルを順番に表示します。(左 / 下: CH 減、右 / 上: CH 増) PTZ 操作時には向きの操作に使用します。

- ◀ 再生時のR.PLAY操作
- ◀◀ 再生時のR.コマ逆再生操作
- ▶▶ 再生時のF.コマ操作
- ▶ 再生時のPLAY操作
- ⏸ 再生時のPAUSE操作



STATUS LED:

電源、HDD アクセス、ネットワークアクセス、アラーム状態の動作状態表示を行います。上部のグレーの四角領域が IR リモートコントローラーの受光部になっておりますので、塞がないようにしてください。



USB 2.0 ポート:

USB フラッシュメモリや USB ハードディスク、USB マウスが使用できます。ただし、全ての USB 製品の接続性を保証しておりませんので、動作可能な推奨品でのご使用をお奨めします。

1-2.IR リモートコントローラ



	E.REC (緊急録画) の on/off		ID (リモコンIDウインドウでID番号選択)
	数字の1を押す。 (全画面切替え数字入力に使用)		数字の2を押す。 (全画面切替え数字入力に使用)
	数字の3を押す。 (全画面切替え数字入力に使用)		数字の4を押す。 (全画面切替え数字入力に使用)
	数字の5を押す。 (全画面切替え数字入力に使用)		数字の6を押す。 (全画面切替え数字入力に使用)
	数字の7を押す。 (全画面切替え数字入力に使用)		数字の8を押す。 (全画面切替え数字入力に使用)
	数字の9を押す。 (全画面切替え数字入力に使用)		数字の0を押す。 (全画面切替え数字入力に使用)
	シーケンシャル画面切替え		分割画面切替え
	方向(上)		方向(下)
	方向(左)		方向(右)
	決定ボタン		
	設定メニュー画面		OSD (オンスクリーン表示) のON/OFF
	PTZメニュー画面		バックアップ画面
	逆再生 PTZ機能時のズームアウト操作		一時停止 PTZ機能時のプリセット設定操作
	再生 PTZ機能時のフォーカス操作		1コマ直前へ PTZ機能時のズームイン操作
	ODDトレイ開閉 PTZ機能時のプリセット呼出操作		1コマ直後へ PTZ機能時のフォーカス操作
	デジタルズームのON/OFF		再生メニュー画面
	ピクチャーインピクチャーのON/OFF		音声選択/ミュート操作
	スポットの切替え		システムログ画面呼出

1-3. システムの動作

電源コードを接続すると、DVR の電源が付きます。システムが初期化されるには約 10 ～ 30 秒かかります。システムがいったん初期化されると、ライブ画面が表示され、自動的にビデオを録画し始めます。

注意：①システムを off にする時は、メインメニューから SHUTDOWN(MENU > SHUTDOWN)を選択して、シャットダウンのメッセージが表示されたら電源コードのプラグを抜いて下さい。

②初めて HDD をインストールする時、HDD を最初にフォーマットして下さい。
(MENU > 録画>ストレージ>記憶装置>フォーマット)

1-4. メニューバー

以下のようなメニューバーが、スクリーン下部に表示されます。



	メニューボタンを押すとメインメニューリストが出ます。
240GB/240GB	使われている HDD の % を示します。
	HDD が、上書きされるようにセットされる時につきます。
	連続ディスプレイモード。
	システムがネットワークに接続している時につきます。
	アラームが作動している時につきます。
	E.REC(緊急レコーディング) モード。
2009-05-13 02:08:43 PM	日付 & 時間を表示します。

1-5. ディスプレイアイコン

	IR リモートコントローラ
---	---------------

	録画していません (グレー)
	録画 (赤)
	E.REC(緊急録画)
	イベント録画 (赤)
	Pre イベント録画 (青)
	モーション検知
	センサー入力検出
	テキストイン動作
	PTZ カメラ
	インスタントバックアップ
	クリップメーカー (青)
	バックアップ (赤)
	ビデオロス

1-6. ユーザー / 管理者のログイン

MENU を押し、メインメニュー画面に入ってください。ログインの画面が表示されましたら、ID（管理者またはユーザー）とパスワードを入力してください。ソフトウェアキーボードの全文字の組み合わせによって最大 8 桁のパスワード文字列を設定できます（大文字小文字は区別されます）。

パスワードセットアップオプション（MENU > SYSTEM > User）からパスワードを設定できます。システムはしばらく使用されませんと自動的にログアウトします。パスワードセットアップオプション（MENU > SYSTEM > User）によって "Auto Logout Time" を設定出来ます。

※ iMon2 for iPhone を利用する際のパスワードについて（注意）

iMon2 for iPhone (2.1.1) では、パスワード入力で文字を入力できません。このため文字を使用しないで 0～9 の数字を使用するか、もしくは「メモ」アプリケーション等にパスワードを入力しコピー、そのパスワードを iMon2 のパスワード欄にペーストしてご使用下さい。（iMon2 for Android は文字列を入力できるインターフェースを備えているため、キーボードから入力してください）

セキュリティに関する注意事項

ネットワークに接続された DVR の Admin 権限のパスワードを、デフォルトパスワードのままご使用になれますと Admin 権限と関係付けられている Administrator グループ（固定、変更不可）でネットワーク設定が有効に設定されているため、お客様の DDNS アドレスもしくは固定 IP アドレスが外部流出してしまった場合、リモートで操作される可能性がございます。これはビデオデータが潜在的脅威に晒されることを意味します。

Admin 権限のデフォルトパスワードを変更しなかったことによりセキュリティの問題が起こった場合は、お客様の責任となります。弊社は一切の責任を負いません。製品インストール後に Admin 権限のパスワードを変更して運用されることをおすすめします。

なお、変更したパスワードはお忘れになりませんよう、お客様ご自身の責任で厳重に管理してください。

また、変更したパスワードを忘れてしまって DVR にログイン出来なくなった場合には、DVR の設定を工場出荷状態に初期化する以外に再ログインできません。初期化手順はお客様への手順開示を行っておりませんので、株式会社店舗ブランニングまでご連絡ください。

本製品に修理が必要となりました場合、ログインのために Admin 権限のパスワードが必要となります。Admin 権限のパスワードを弊社修理担当窓口がお伺い致しますので、修理をご依頼の際は Admin 権限のパスワードを準備されまして、ご連絡ください。

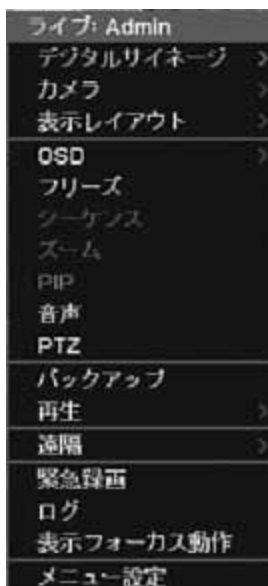
1-7. メインメニュー

DVR のメインメニューはシステム、デバイス、ディスプレイ、録画、ネットワーク、イベントから成ります。そして各メニューは、システムの上の詳細セットを許可設定する様々なサブメニューで構成されています。各メニューへのアクセスにはマウス、リモートコントローラ、またはフロントボタンを使ってください。

注意：システム設定やオペレーションのあらゆる未承認変更を防ぐためにシステム設定またはオペレーションが終了した時、システムログアウトが終了したか確認して下さい。

メインメニュー	システム	情報
		日付 & 時間
		ユーザー
		簡単設定
		システムログ
	デバイス	カメラ
		音声
		アラーム
		コントローラ
		RS232 & RS485
	ディスプレイ	表示
		VGA
		CVBS
		デジタルサイネージ
	録画	記憶装置
		録画
		録画ツール
	ネットワーク	アドレス
		ダイナミック DNS
		遠隔通知
		映像配信
	イベント	センサー
		モーション
		ビデオロス
		テキストイン
		システム
ログアウト		
シャットダウン		

1-8. コンテクシャルメニュー



コンテクシャルメニューは、マウスを右クリックすることによって表示されます。表示レイアウトオプションは、モニター上でのカメラ表示の各種変更を許可します。モニター上で都合のよいカメラディスプレイオプションを選択して下さい。

デジタルサイネージ：デジタルサイネージのアウトプット先(VGA または CVBS)を選択します。

カメラ：カメラ番号を選択。

レイアウト：ディスプレイモード(8/16chDVR のみ)

OSD：OSD ディスプレイオプションの選択。

テキストイン OSD：テキストイン表示の ON/OFF の選択。

フリーズ：現在の表示画面をポーズ。

シーケンス：連続表示を開始。

ズーム：画像の 2 倍、4 倍、8 倍ズーム表示。

PIP：PIP モードとカメラを選択。

音声：オーディオアウトを選択。

PTZ：PTZ オプションを選択。

バックアップ：バックアップオプションを選択。

再生：録画データの再生。

遠隔：遠隔地の HDx E モデルと接続してライブ・録画再生を見ることができます

緊急録画：非常時の録画開始。

ログ：システム / イベントのログの選択。

表示フォーカス動作：CVBS と VGA の両方を使う時にコントロールフォーカス(例えばセットアップ ,OSD などを)どちらかのモニタに移動します。

メニュー設定：セットアップメニューの選択。

コンテクシャルメニューの詳細については、**2.DVR 構成**(P.25)を参照してください。


2. DVR 構成

2-1. システム

SYSTEM メニューの下で、情報、日付 & 時間、ユーザー、簡単セットアップ、システムログがシステム構成オプションとして選択できます。

2-1-1. MENU > システム > 情報



情報スクリーンから、DVR 名、MAC アドレス、バージョン、アップグレード、およびシステム設定を選択できます。ハイライトを付け、入力または DVR 名を変更するために DVR 名  を押して下さい。スクリーンキーボード（ネットワーク上のキーボード）を使用して下さい。

システムをアップグレードするためには、アップグレードファームウェアファイルを USB フラッシュメモリに保存し DVR の USB ポートに接続してください。機器が接続されたら、システム・アップグレードを実行するために、アップグレードボタンを押して下さい。

アップグレードは約 5 分かかります。アップグレードが完了すると DVR は自動的に再起動します。

注意：アップグレード中は USB フラッシュメモリを取り外したり、システムの電源を off にしないで下さい。アップグレード中に USB フラッシュメモリを取り外したり、システムの電源を off にしますと、システムの誤動作を引き起こします。

リモコン ID

複数の DVR を IR リモートコントローラから制御する場合には、リモコン ID から、個別に複数の ID を DVR 毎に割り当て下さい。IR リモートコントローラを使用するとき、リモコン ID が 0 なら、ID を選択する必要はありません。リモコンはどの ID 0 の DVR とも伝達できます。

映像信号規格

システムは自動的にカメラ信号タイプ NTSC/PAL を検出します。また、システムは異なった信号タイプ用に手動選択オプションを提供します。

システム設定

システム設定オプションを使用して、設定情報を保存、またロードすることが出来ます。

出力：USB フラッシュメモリに設定を保存します。

入力：USB フラッシュメモリに保存した設定をロードします。

初期値：工場出荷時設定をロードします。

注意：システム設定は、システムとネットワーク設定を変更しません。また、初期値オプションを選択しましても、ネットワーク設定は変更されません。


2-1-2. MENU > システム > 日付・時間




日付・時間、時間帯（タイムゾーン）、日付、時間、NTP サーバー、休日のオプションを選択することができます。


時間帯（タイムゾーン）を選択するには、右側の ▾ を押して選んで下さい。

もし、サマータイムが適用可能ならば、ローカルのサマータイムの始めと終わりの日付と曜日、時間を入力して下さい。

日付と時間を設定するためには  ボタンを押して下さい。



 ボタンを押すと日付と時間表示形式を変更することが出来ます。

DVR の時刻を NTP サーバーを使用して同期させるには、"NTP を使用する" にチェックを入れ、NTP サーバーに仮想キーボードから同期したいタイムサーバーの IP アドレスもしくはドメイン名を入力して下さい。間隔で定義された周期で自動的に時刻同期が行われます。

 ボタンを押すと直ぐに時刻同期を行います。

注意：DVR 操作に NTP 必須ではありません。様々なタイプの標準時サーバーを使用する（例えば time.windows.com）ことができます。但し、ネットワークトラフィックまたは遅延のため時刻同期サーバーから同期が行えない場合もあるかもしれません。

休日を押して、休日の特定期日を決定して下さい。

 ボタンを押して、日付の開始と終了を設定して下さい。または  ボタンを使用して日付を変更 / 削除することが出来ます。

注意：休日の日程はお間違えないようにして下さい。

また、毎年アップデートをして下さい。

2-1-3. MENU > システム > ユーザー



ユーザタブを押して、新しい使用者の入力 / 追加を行って下さい。

オートログイン：システムの起動時に指定したユーザーで自動的にログインすることを可能にします。On か Off に設定して下さい。

自動ログアウト：指定した時間でシステムへの操作がないと自動的にログアウトします。On か Off にして下さい。
新しい使用者を加えるために **[+]** を押して下さい。 既存使用者を外すには、**[X]** を押して下さい。

ユーザー：使用者名を入力

グループ：新しいユーザーが所属するグループを選択して下さい。

パスワード：新しいパスワードを設定、またはパスワードを変更して下さい。



注意：①デフォルトで、パスワードは「1111」です。

②致命的エラーを起こす可能性がありますので、ユーザーネームとして「admin」を使わないでください。

使用者登録とアクセス権をシステムに設定して下さい。グループを押して、グループの追加や設定を行って下さい。

[+] を押して、新しいグループを加えて下さい。グループ名を入力し、グループのアクセス権を選択して下さい。既存のグループを削除するには、**[X]** を押して次に進んで下さい。

2-1-4. MENU > SYSTEM > 簡単設定



簡単設定オプションによって基本的な設定ができます。

2-1-5. MENU > システム > システムログ



システムログにおいて、システムログの全リストを検索することができます。

再読込 ボタンを押して、ログリストを最新状態へリフレッシュ出来ます。

◀ ▶ ボタンを使用し、ログリストを 1 ページずつ前後に移動して検索できます。

ログリストは csv 形式において出力可能です。

2-2. デバイス

デバイスメニューの下で、カメラ、音声、アラーム、コントローラー、RS232&RS485 (POS/PTZ/ キーボード) のためのデバイス構成オプションを設定することができます。

2-2-1. MENU > デバイス > カメラ



カメラ表示ブションを設定して下さい。

カメラの接続が無い場合は、横のボックスを非マークすることによって、カメラ表示（ビデオ損失表示）は機能しません。[F]を押して、カメラタイトルを変更して下さい。

色オプションを選択する為に右側の「設定」を押して、明るさ、コントラスト、彩度、色相のスライドバーでレベル調整して下さい。この色設定はカメラの色を変更するのではなく DVR システム内での表示色に影響します。録画もこの色設定に基づいて記録されます。

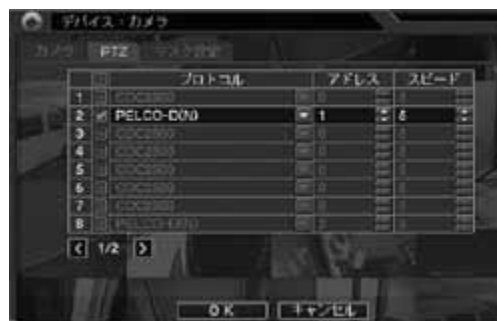
Privacy オプションを選択するには [設定] を押して選択上の升目（黄色）をサークル (UP/DOWN/LEFT/RIGHT) キーで移動しマスクしたい開始点で Enter キーを押して「Start Zone Setting」で Enter キーを押します。サークル (UP/DOWN/LEFT/RIGHT) キーで終了したい矩形位置まで移動し、マスクしたい終了点で Enter キーを押して「End Zone Setting」で Enter キーを押します。設定したマスク矩形は緑色でマークされています。全ての設定したいマークを終えたら、Enter キーを押します。宜しければ「閉じる」で設定を終了します。何れかの状態で「Clear Zone」を押すと選択上の升目の Zone を消去できる他、「全消去」で画面全体のマスクを消すことが可能です。

設定されたマスクは黒色で表示されます。画面上、何個というような制限はありません。

ただし、PTZ カメラのように画角が動いてしまう場合のマスクに追従する機能はありませんので、PTZ でマスクが必要な場合は PTZ カメラ機能でのマスクを行ってください。本機能は静止画のためのマスク機能になります。








PTZ コントロール

PTZ カメラの接続されたチャンネルを選んで下さい。マウスの右ボタンを押すことによって、コンテクシャルメニューから PTZ を選択できます。



注意： PTZ はフルスクリーンモードのみでコントロールすることができます。

PTZ をコントロールするために画面上のアイコンを使用してください。マウスを使用して、PTZ カメラのそれぞれの機能のために割り当てられた矢印や PTZ アイコンをクリックして下さい。

		ズームアウト
		ズームイン
		近距離に焦点を合わせる
		遠距離に焦点を合わせる
		プリセット保存
		プリセット呼出



マスク設定

マスク設定は監視におけるプライバシーを設定します。マスクモードが設定される場合、ライブイメージが表示されないかカメラによって日、時間、および OSD の表示 / 非表示が設定できます。モードは開始～終了時間でスケジュールリングすることができます。

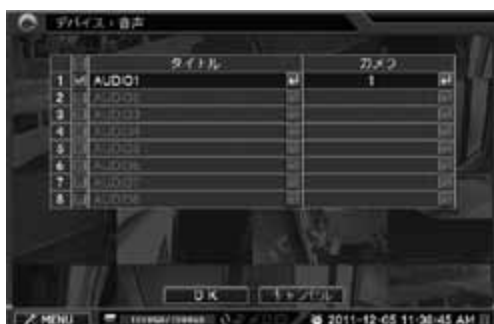
OFF モード：通常の表示。

中モード：ビデオイメージが画面上に表示されていなくても、OSD のスクリーン上には残っています。

高モード：ビデオ画像、また OSD もスクリーン上に表示されません。

注意：モニターの状態のみの変更を行い、どんなマスク設定オプションも録画データには影響しません。

2-2-2. MENU > デバイス > 音声



音声録音するために音声を選択して下さい。E series の入力抵抗は 10k Ω で、出力も 10ko Ω 基準です。音声入出力ゲインは 1/1 で、マイク入力はありません。


2-2-3. MENU > デバイス > アラーム



アラーム継続時間：5 秒から 10 分までのアラーム起動時間を設定します。


スケジュールタブからアラーム操作スケジュールの選択をします。アラームは曜日、開始～終了時間、モード、アラーム出力方法の設定ができます。



 を押してアラームを選択し、TTL アラーム出力、ブザー鳴動を設定してください。アラーム出力はオープンコレクターで設計されています。出力ドライバは MMBT3904 を使っていて DC24V 以下 / 最大 200mA までの小型の DC-Relay は駆動できます。

2-2-4. MENU > デバイス > コントローラー



 を押してリストから検索や選択を行って下さい

2-2-5. MENU > デバイス > RS232&RS485



 を押して各部分のデバイスを選択します。

RS232：Text In(POS)デバイスをサポート

RS485：PTZ とキーボードをサポート

注意：機器(例えばキャッシュレジスター)中のテキストは、DVR で扱うために ASCII コードテキストを使う必要があります。

注意：RS232 端子は 3pin (TX/RX/GND) 構成ですが、UART 出力レベルは RS-232C レベルです。

RS-232 ドライバがボードに内蔵されています。3pin 構成ですので CTS/RTS フローについて、つまりハードウェアフロー制御についてはサポートしておりません。

2-3. ディスプレイ

Display メニューから、OSD と Monitor の選択のための設定オプションを表示します。

2-3-1. MENU > ディスプレイ > 表示



言語：システム言語を選んでください。

入手可能な言語オプションを見つけるために▼を押してください。

ステータスバー消去：システムが使用されていない時に、ステータス・バーを消去する機能の On/Off と消去までの時間を選んでください。



メニュー画面切り替え (マウス)：[on] 時、主要なモニタの切り替えがマウスの左右ボタンを同時に押すことで行えます。



[off] 時、主要なモニタの切り替えがマウスでは行えなくなります。

2-3-2. MENU > ディスプレイ > VGA



OSD 余白：OSD の水平方向と垂直方向のマージン (ポジション) を指定してください。



シーケンス間隔：シーケンシャル表示モードでの時間間隔を設定してください。

イベントポップアップ：予め設定されたカメラでイベントが起こった場合に、フルスクリーン画面でカメライメージをポップアップ表示します。



PIP メニューから、PIP (Picture In Picture) サイズと表示位置を選択できます。希望のサイズと PIP 表示の位置を選択して下さい。

2-3-3. MENU > ディスプレイ > CVBS



OSD 余白：OSD の水平方向と垂直方向のマージン(ポジション)を指定してください。



シーケンス間隔：シーケンシャル表示モードでの時間間隔を設定してください。

イベントポップアップ：予め設定されたカメラでイベントが起こった場合に、フルスクリーン画面でカメライメージをポップアップ表示します。

次ページにつづきます



PIPメニューから、PIP(Picture In Picture)サイズと表示位置を選択できます。希望のサイズと PIP 表示の位置を選択して下さい。

2-3-4. MENU > DISPLAY > デジタルサイネージ



デジタルサイネージ開始：設定された時間経過後に電子広告の表示を On で開始します。

画像間隔 (秒)：開始するまでの時間を設定してください。
また、電子広告のイメージデータフォーマットをビデオまたは静止画から選んでください。

入力：USB フラッシュメモリの 'Advertise フォルダ' 内に
に存された JPEG 画像を取り込みます。

ー JPEG ファイル最大の大きさは 256KB です。

ー JPEG イメージ最大の大きさは

NTSC : 704x480 PAL : 704x576 です。

ー最大 fps は 15fps です。

ー入力できる JPEG イメージの総合計は 1GB で、

Advertise フォルダ内に filename_xxxxx.jpg のように
5 桁、00000 ~ 99999 枚のインデックスを伴うファイル
が必要です。

注意：①電子広告コンテンツのみ削除する方法はありません。
HDD を Format 動作をすると削除されます。

②デジタルサイネージデータの準備については「付
録 C. DigitalSignageMaker 使用方法 (P.92)」
を参照してください。



スケジュール：曜日毎の開始～終了時間範囲にデジ
タルサイネージを、どの表示デバイス
(CVBS,VGA,VGA+CVBS) で再生するか
をスケジュールリングできます。

2-4. 録画

録画メニューの下で、記憶装置(ストレージ)、録画、および録画ツールのための録画設定オプションを選ぶことができます。

2-4-1. MENU > 録画 > 記憶装置



記憶装置では、接続している HDD の容量、形式、用途、ステータスなどの保存状態の接続状態を表示します。

フォーマット：HDD をフォーマットする場合、フォーマットを押してください。

録画：HDD 上に録画された記録期間のデータを表示します。

詳細：各 HDD 上に録画されたデータの詳細情報を表示します。HDD 毎の内部で一括りになっている最小単位のデータ区間が表示されます。**再読み込み** ボタンを押してリストを最新状態へ更新できます。



S.M.A.R.T. において、HDD のステータス (良、不良)、その時点での温度 (摂氏 / 華氏) が表示されています。**再読み込み** ボタンを押して最新のステータスに更新できます。

2-4-2. MENU > 録画 > 録画



録画項目では、上書き、解像度、ips (録画レート)、画質を選択できます。

上書き：記録された HDD データが HDD 容量を超えて一杯になった時に上書き録画をすることができます。

自動削除 (日)：定義された日数より古いデータを削除します。On か Off および保存日数を指定してください。

ips：録画速度を選んでください。

画質：録画画像の品質を選んでください。

解像度：録画解像度を選んでください。

連続録画：連続録画モード時の ips・画質・解像度を設定してください。

イベント録画：イベント録画モード時の ips・画質・解像度を設定してください。

緊急録画：緊急録画モード時の ips・画質・解像度を設定してください。

※注意：ips は、D1 またはオプションを記録している半分の D1 でオーディオ記録のために 1ips より高く設定される必要があります。オーディオとビデオの同期がずれて再生される場合があります。

イベントで、プリ録画時間とポスト録画時間、緊急録画時間が設定できます。



プリ録画時間：イベント発生時にイベントモードが設定されている場合、指定されたプリ録画時間にさかのぼって記録することができます。プリ録画時間はイベント発生前の最大30秒から設定できます。OnかOffを選択してください。

緊急録画期間：5秒から30分または継続的（無制限）に設定することができます。

ポスト録画期間：イベント発生時にイベントモードが設定されている場合、指定された録画期間を上限に録画することができます。最高30分まで指定できます。



スケジュールから、曜日、開始～終了時間、モード、カメラ、録画レートオプションが設定できます。

新しいスケジュールを加える場合は $\boxed{+}$ を押して下さい。既存のスケジュールを取り除くには \boxed{X} を押して削除することができます。

モード \boxed{T} ・ \boxed{E} はそれぞれ連続録画・イベント録画を示しております。

上記での動作は、1～16のカメラが全ての曜日(ALL)での終日(00:00～24:00)、連続録画もイベント録画も共に30ipsで録画し、モード \boxed{T} ・ \boxed{E} であるので連続録画しながらイベントログも記録されるという状態です。

モード \boxed{T} だけであれば、連続録画であり常時記録している録画動作となります。但し、イベントログは記録されません。

モード \boxed{E} だけであれば、イベント録画であるので、後述のイベントで定義された録画条件に従って上記のプリ録画時間とポスト録画時間の条件に従っての断片的な録画動作となります。

2-4-3. MENU > 録画 > 録画ツール



録画ステータスの中で、現在の録画オプションとステータスのカメラチャンネル毎のリストが表示されます。それぞれ、録画 fps、録画品質、録画解像度、およびオーディオ録音 (o/x) が表示されます。

再読み込み ボタンを押して最新の録画ステータスに更新できます。

HDD 容量において、搭載されている HDD に対して、解像度、fps、カメラの数、および画質を元に録画時間・容量の計算が行えます。



ギガバイトサイズは、1 日の記録に必要なとする容量を示します。日と時間は、搭載されている HDD サイズに基づいて、記録できる日数・時間を示します。

注意：① 計算結果は近似データを示します。

同じ録画フレームレート (fps) と録画品質は同じストレージサイズとレコーディング期間を保証しません。これは、圧縮方式による誤差や録画されるビデオイメージの動きや色情報により、録画データサイズが「多い / 少ない」条件での多様性によります。

② 手で fps を変更してください。それは解像度の変化に従って fps を変更しません。

③ 各解像度のサイズ CIF：360X240、Half-D1：720x240、D1：720x480

2-5. ネットワーク

ネットワークメニューで、ネットワークアドレス、ネットワークポート、DDNS、遠隔通知、および映像配信のためのネットワーク設定オプションが選択できます。



2-5-1. MENU > ネットワーク > アドレス

アドレスタブから、形式、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイや DNS サーバーなどの情報をネットワーク接続に設定できます。

形式：ネットワーク設定のタイプを選んでください：固定 IP、DHCP、および ADSL (PPPoE)。

IP アドレス： ボタンを使って、IP アドレスを設定してください。

サブネットマスク： ボタンを使って、サブネットマスクを設定してください。

ゲートウェイ： ボタンを使って、ゲートウェイ IP アドレスを設定してください。

DNS サーバー：DNS サーバーの IP アドレスを設定してください。ローカルの DNS サーバー (DNS リレーサーバー) を指定してドメイン名の名前解決が出来ない場合は、プロパイタの指定するプライマリー DNS サーバーの IP アドレスを指定してください。

DNS サーバーアドレス (自動)：使用する DNS サーバーアドレスを自動的に設定します。このオプションが適用できるのは DHCP 使用時または ADSL (PPPoE) 設定の場合に限り選択できます。ポートタブではシステムへの外部のアクセスのための適切なポート番号を設定します。

ネットワークポート：DVR リモートクライアントが接続する TCP ポート番号を設定してください。

ウェブポート：Web リモートクライアントが接続する HTTP ポート番号を設定してください。

RTSP ポート：RTSP (リアルタイム・ストリーミング・プロトコル) で使用する TCP ポート番号を設定してください。

UPnP を使用する：UPnP を使用して UPnP 対応ブロードバンドルーターのポート開放を行う場合にチェックしてください。

注意：① ID とパスワードは ADSL (PPPoE との) タイプにおいて必要です。

②デフォルトで、TCP ポートは 10101 ですが、設定変更が必要ならば、1500 ～ 32000 にすることができます。

2-5-2. MENU > ネットワーク > DDNS

ダイナミック DNS タブにおいて、ダイナミック DNS のため DVR がダイナミック IP アドレスで動作するための更新機能が提供されます。



DDNS サーバー：autoipset.com がダイナミック DNS サービスのために無料登録を提供します。ホームページ上でのダイナミック DNS セット方法については付録を参照してください。

ホスト名：autoipset.com で識別されるホスト名を設定してください。それが ID/パスワードで運用する場合にはユーザー認証のための ID/パスワードをバーチャルキーボードを使って入力してください。 ボタンを押してホスト名とダイナミック IP の関連付けをアップデートできます。

2-5-3. MENU > ネットワーク > 遠隔通知



コールバックにおいて、ローカルなシステムで検出されたイベントが、遠隔のマルチリモートクライアントサイトに通知されることができるよう、クライアントサイトの IP アドレスを設定してください。リモート・サイト上のイベント通知を受け取るために、クライアントサイトの IP アドレスを入力してください。バーチャルキーボードを使用できます。

コールバック間隔： イベント発生でリモートサイトに通知を送る、コールバック間隔を選んでください。

注意： イベントがコールバック間隔内で起こった場合、リモートサイトには送られません。

例) 間隔が 30 秒として設定されるなら、最初のイベントがリモートサイトに送られてから 30 秒後に次のコールバック送信が起こります。



Eメールにおいて、イベントをテキストメッセージで電子メールアドレスに通知することができます。

電子メール間隔： Eメール経由でリモート・サイトに送るイベントの、電子メール送信間隔を選んでください。

受信アドレス： 受信者の電子メールアドレスを入力してください。最高 5 人までの受信者を登録することができます。もし、もっと多くの受信者への通知が必要となる場合は、電子メールシステム側でグループやメーリングリスト用メールアドレスなどを使用してください。

注意： イベントが Eメール間隔内で起こった場合、リモートサイトには送られません。例) 間隔が 30 秒として設定されるなら、最初のイベントが電子メールのリモート・サイトに送られてから 30 秒後に次の送信が起こります。

SMTP サーバー： バーチャルキーボードを使用して SMTP サーバーを入力してください。SMTP サーバー情報（送信ポート番号、電子メール送信のための ID/ パスワード）はシステム管理者から得ることができます。

送信アドレス： Eメールの送信元となるアドレス / 名前を入力してください。



2-5-4. MENU > ネットワーク > 映像配信

ネットワークの映像配信オプションで帯域幅と ips、画質、解像度をコントロールすることができます。

ネットワークライブ： 遠隔接続時の設定です (遠隔接続プログラム or WEB Viewer or WiFi 網を利用した iMon2)。

モバイルライブ： 3G ネットワークを利用している iMon2 の設定です。

2-6. イベント

イベントメニューで、センサー入力、モーション検知、ビデオロス、テキストイン、システムとの同期でイベントを設定できます。

2-6-1. MENU > EVENT > センサー




センサータブから、各センサーの起動とタイトル、センサー形式を選択できます。どちらかのセンサー形式を選択して下さい。

NC: 通常閉


NO: 通常開

4 番目のセンサー項目は緊急レコーディングのみの使用となります。




録画タブから、各センサーは単独または複数カメラに連動します。を押して、センサーに連動するカメラを選択して下さい。



アラームタブから、各センサーは単独または複数アラームに連動します。を押して、センサーと同期するアラームを選択して下さい。



遠隔通知タブから、各センサーは単独または複数コールバックまたはEメールサイトに連動します。

を押してコールバックまたはEメールアドレスに入って、センサーに同調して下さい。



タブから PTZ イベント関連のプリセットはセンサー / モーション / ビデオロスのイベントに同期します。複数のイベントが起こった場合、同じタイミングで PTZ カメラに制御が発生します。この時には、センサー入力>モーション検知>ビデオロスの順にイベントを優先的に取りますので注意して下さい。

2-6-2. MENU > イベント > モーション検知



モーションタブから、システムはモーション検知機能を提供します。感度、範囲オプションを使用して、モーション検知を設定して下さい。

感度：低～最高までの検知感度を選んでください。

範囲：モーション検知動作のためのスクリーン上のブロックエリアを設定してください。

範囲の設定のために設定ボタンを押して、モーション検知の領域を定めて下さい。ブロックは、モーション検知の領域設定を示しています。

ブロック選択：矢印キーを使用して、ボックスを動かして下さい。個々のブロックを選択して、モーションゾーンを設定して下さい。数字キーを使用して、ブロックを選択または解除して下さい（マウスを使用する際には、左のボタンを使用して下さい）。

ブロック消去：ボックスの中のブロックを全て選択しない。

全範囲選択：画面上全体のブロックを選択する。

全消去：画面上全体のブロックを選択しない。

表示：動作が検出される時に、スクリーンの上の動作ゾーンを白くオーバーレイ表示します。



録画タブから、各センサーは単独または複数カメラに連動します。

⬅を押して、モーション検知に連動するカメラを選択して下さい。



アラームタブから、各センサーは単独または複数アラームに連動します。

⬅を押して、モーション検知と同期するアラームを選択して下さい。



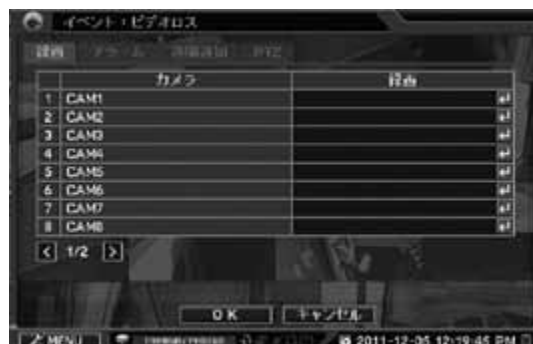
遠隔通知タブから、各センサーは単独または複数コールバックまたはEメールサイトに連動します。

⬅を押してコールバックまたはEメールアドレスに入って、モーション検知に同調して下さい。



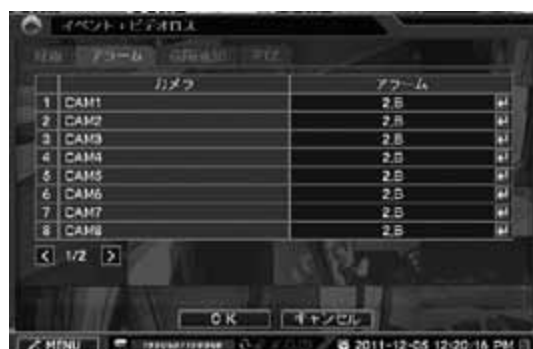
プリセット機能により、PTZ はモーション・イベントからのプリセット呼び出しに連動します。モーション・イベントが検出されると、PTZ は所定のプリセット位置に動きます。

2-6-3. MENU > イベント > ビデオロス



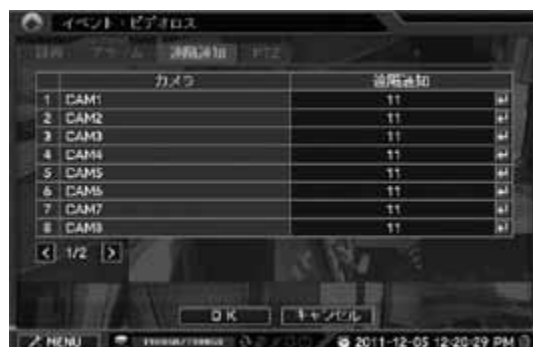
ビデオロスタブから、ビデオの損失がある時、単独または複数カメラはイベント録画のための連動が設定できます。

☐を押して、ビデオの損失により連動させる単独または複数カメラを選択してください。



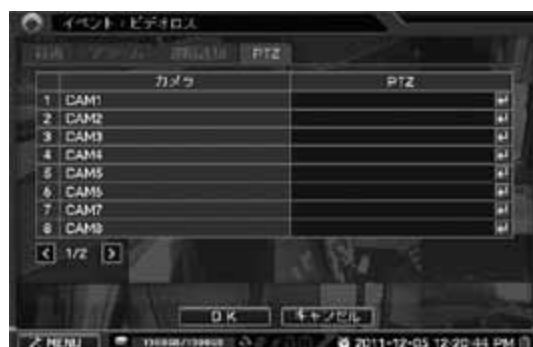
アラームタブから、各センサーは単独または複数アラームに連動します。

☐を押して、モーション検知と連動するビデオロスを選択して下さい。



遠隔通知タブから、ビデオロスが生じた各カメラは、単独と複数コールバック、またはEメール送信に連動できます。

☐を押してビデオロスと連動するコールバックまたはEメールアドレスを入力してください。



プリセット機能により、PTZはビデオロスイベントからのプリセット呼び出しに連動できます。ビデオロスが検出されると、PTZは所定のプリセット位置に動きます。

2-6-4. MENU > イベント > テキストイン



注: POS/ATM の使用のために、システムは一般的な ASCII コードをサポートしなければなりません。

テキストイン形式: リストからテキストインのモデルを選択します。

開始コード: 表示されるトランザクション情報の開始コードとして判別する文字を入力してください。

任意文字: 任意のどのようなキャラクターでも開始として扱う場合にチェックしてください。

終了コード: 表示されるトランザクション情報の終了コードとして判別する文字を入力してください。

CR+LF: トランザクション終わりに改行+ラインフィードが必ずあることが判っている場合にチェックしてください。

無視する文字: トランザクションストリングとして無視する選ばれたワードを含む文字を入力してください。

改行コード: ラインの終わりを区別するワードまたはコードを入力してください。

大小文字区分: 大文字と小文字によって言葉を区別する場合にチェックしてください。録画タブから、各センサーは単独または複数カメラに連動します。[+]を押して、テキストインに連動するカメラを選択して下さい。



テキストイベントと同期するカメラは RS232 & RS485 ポートで定義されている必要がありますが同時に使われている場合、それは違うカメラに設定されている必要があります。例えば、RS232 がカメラ 1 ~ 12 に設定されるならば、RS485 は 13 ~ 16 に設定されるべきです。同時使用はできません。



アラームタブから、各センサーは単独または複数アラームに連動します。[+]を押してテキストインと同期するアラームを選択して下さい。B(ブザー) が選ばれた場合はシステムはアラームとしてブザー鳴動する動作になります。



遠隔通知タブから、各センサーは単独または複数コールバックまたはEメールサイトに連動します。

 を押してコールバックまたはEメールアドレスに入って、テキストインに同調して下さい。



プリセット機能により、PTZ はテキストインイベントからのプリセット呼び出しに連動できます。テキストイントランザクションが検出されると、PTZ は所定のプリセット位置に動きます。

2-6-5. MENU > イベント > システム



システムでは、S.M.A.R.T 機能による予兆診断機能を利用しての温度測定を行えるほか、監視条件として、残容量や HDD エラー、ストレージへのアクセスの可否確認を設定します。

S.M.A.R.T 限界温度：限界とする温度を設定します。設定温度レベルを超えて HDD の温度が上昇する場合に以後の設定に従ってユーザーに通知されます。



アラームタブから、各センサーは単独または複数アラームに連動します。

を押してシステムと同期するアラームを選択して下さい。

各イベントと同期するためにアラームを選んでください。 A (アラート) が選ばれた場合は、システムスクリーン上に警告メッセージをポップアップ表示します。 B (ブザー) が選ばれた場合はシステムはアラームとしてブザー鳴動する動作になります。



遠隔通知タブから、各センサーは単独または複数コールバックまたは E メールサイトに連動します。

を押してコールバックまたは E メールアドレスに入って、システムに同調します。

2-6-6. ログアウト



DVR MENU の使用を終了します。MENU を使用する場合は再度ログイン操作する必要があります。

システム：ユーザー>オートログインでの設定をしている場合にはログインパスワードの入力を行わないで指定のユーザーでログインされた状態から開始されます。(1-6. ユーザー / 管理者のログイン参照)

2-6-7. シャットダウン



シャットダウンを選択して Enter キーを押すと、シャットダウンと RESTART を選択するダイアログが表示されます。シャットダウンを選択した場合、シャットダウンが完了すると「システムを終了しても良いですか？」と再確認の表示があり「はい」でシステムの終了処理が開始され、正常に終了すると「システムは正常に終了しました」の表示が出たままの状態となります。AC コンセントからプラグを抜くことができます。

RESTART を選択した場合には、システムの再起動が行われます。再起動後の操作はログアウト後の動作に同じとなります。システム：ユーザー>オートログインでの設定をしている場合にはログインパスワードの入力を行わないで指定のユーザーでログインされた状態から開始されます。オートログイン

指定がされていない場合は、MENU に入るためには「1-6. ユーザー / 管理者のログイン」手順に従ってログイン操作が必要になります。

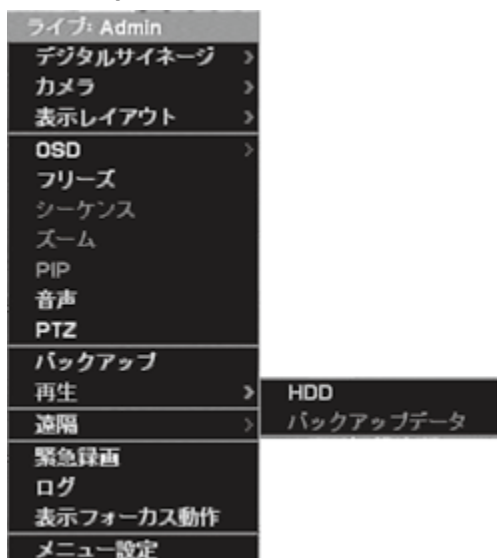
3. 録画再生

記録されたデータを検索するために、システムは様々な再生メニューを提供します。

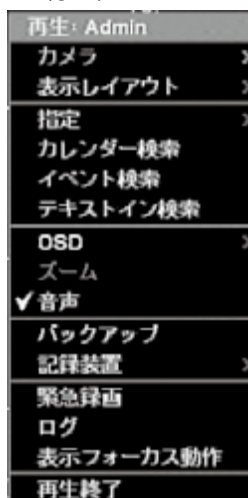
マウスボタンの右ボタンをクリックしてライブコンテクシャルメニューから再生のストレージタイプ（HDD、バックアップデータ）を選んでください。バックアップデータが選ばれる場合は外部のHDD上のデータをバックアップしたデータから検索することができます。

再生中に MENU ボタンを押すと再生コンテクシャルメニューが表示されます。

＜ライブ時のメニュー＞



＜再生中のメニュー＞



カメラ：再生対象とするカメラ番号を選択します。

レイアウト：ディスプレイモード（8/16 ch のみ）を選択します。

指定：記録されたデータから日付 / 時間を指定して検索できます。記録されたデータの最初または最後からの再生を指定できるほか、検索中の時間から 5/10/15/30/60 秒のデータに遡って再生する機能が提供されます。

カレンダー検索、イベント検索、およびテキストイン検索を指定できます。

OSD：OSD ディスプレイオプションを選んでください。

テキストイン情報：テキストイン機能を使用して POS または ATM 装置から受信したトランザクションを表示する場合には選択してください。

ズーム：イメージを 2 倍で拡大表示します。

オーディオ：オーディオ出力チャンネルを選択します。

バックアップ：バックアップまたはクリップ作成を選択します。

記憶装置：HDD またはバックアップデータを選択します。

緊急録画：緊急録画を指定して再生します。

ログ：システム / イベントのログを表示します。

表示フォーカス動作：フォーカスを別のモニタ（CVBS → VGA、VGA → CVBS）に移動します。

再生終了：検索モードを終了し、ライブモードに戻ります。

3-1. 時間指定



時間 / 日付によって録画データを検索するために、時間指定を選んでください。上下ボタンを使用して日付 / 時間を設定してください。

最初に移動：記録されている最初のデータに移動します。

最後に移動：記録されている最後のデータに移動します。

設定が終了したら、再生を開始するために **OK** ボタンを押してください。

3-2. カレンダー検索



カレンダー検索は、表示する数字 (日付) によって簡単なグラフィカル検索を提供します。録画されたデータはハイライトされます。いったんデータを選択すると、上図の録画時間表を表示します。表の始めの数は 24 時間形式で時間枠を表します。また、左側のタイトルはカメラ番号を示します。

カラーバーは選択した録画データの全情報を示します。インディケーター (線) を動かして、選択したデータの特定録画時間を選択して下さい。録画データの詳細表示する場合は **詳細** ボタンを押して下さい。

設定が終了したら、再生を開始するために **指定** ボタンを押してください。

3-3. イベント検索



イベント検索は録画したイベントリストからの検索を提供します。特定のデータを見つけるためにデータとイベントタイプを選択して下さい。 **イベント: All** を押してリストからイベント検索オプションを表示してください。イベントの特定リストを得たら、上下ボタンを使用してログにハイライトを付け選択し、イベントデータを再生して下さい。

All: 全てのイベントをリスト表示します。

モーション: モーション検知イベントをリスト表示します。

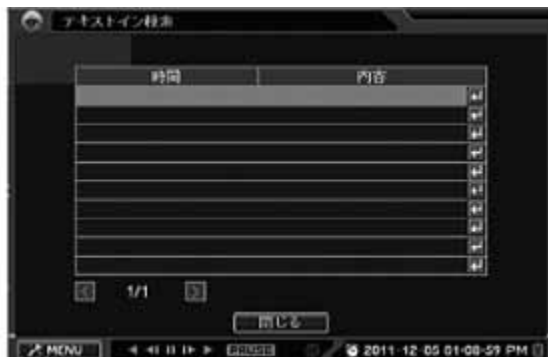
センサー: センサー入力イベントをリスト表示します。

ビデオロス: ビデオロスイベントをリスト表示します。

テキスト: テキストインイベントをリスト表示します。

緊急: 緊急録画の開始 (イベント) をリスト表示します。

3-4. テキストイン検索



テキストイン検索は録画と一緒に記録されたトランザクションログ処理によるテキスト検索を提供します。日付 / 時間の開始～終了期間と検索対象文字列を指定して検索して下さい。検索によって得られた情報リストから、上下ボタンを使用してログにハイライトを付け選択し、イベントデータを再生して下さい。

開始：検索開始のために開始時間を設定、または最初のデータから検索の為に始点を選択します。

終了：検索終了のために終了時間の設定、または最後のデータから検索の為に終点を選択します。

テキスト検索：単語を含めて、テキストデータを入力してください。

大小文字区分：大文字と小文字によって言葉を区別する場合にチェックしてください。

すべての検索情報を入力したら、テキストイン検索を開始するために **OK** を押して下さい。

3-5. バックアップデータ再生



DVR 上で USB フラッシュメモリーにバックアップしたバックアップファイル（STRG 形式）を選択して再生します。

3-6. 再生コントロール



R. Play：逆再生します。

Step Backward：先のイメージに戻ります。

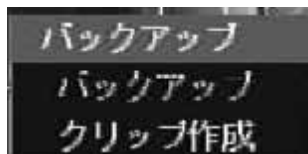
Pause：再生の一時停止または再生の停止。

Step Forward：次のイメージに進みます。

Play：標準速度でデータを再生します。

逆方向または進行方向への再生速度を制御するために、◀ または ▶ を繰り返し押して下さい。再生速度は最大 32 倍 (x32 のように表示) まで上げることが可能です。

4. バックアップ



記録されたデータは USB フラッシュメモリーにバックアップすることができます。検索またはライブモードのコンテクシャルメニューからバックアップまたはクリップ作成の、どちらかを選んで実行してください。

4-1. バックアップ



バックアップから、USB フラッシュメモリーにバックアップするために録画データを選択できます。

デバイス : USB Strage を選択してください。

ファイル名 : 保存するバックアップデータのタイトルを決定してください。を押すとバーチャルキーボードが表示されますので、タイトルの変更が可能となります。

開始 : バックアップの開始日時を ボタンを使用して変更してください。

終了 : バックアップの開始日時を ボタンを使用して変更してください。

カメラ : バックアップしたいカメラ番号を選択してください (複数選択可能)。

DVR MediaPlayer にチェックを入れた場合は、下記を参照してください。

チェックを入れた場合は 6-3-16. バックアップビューアー (P.71) を参照してください。

録画したデータにオーディオデータが含まれる場合はとビデオデータと一緒にバックアップします。

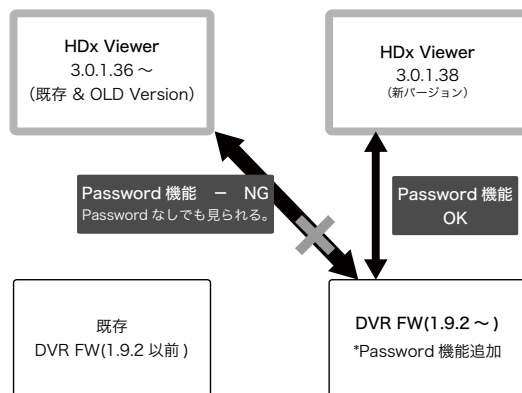
ステータスはバックアップ中のバックアップ進捗を表示します。

注意 : ① バックアップ作業中にクライアントプログラムを使用し、システムは遠隔操作からモニター / 再生されますと、バックアップ作業は遅くなります。

② データバックアップが処理されている間、バックアップメディアを移動させないで下さい。
バックアッププロセス中に、バックアップメディアを移動させますと、メディアまたはシステムへの重大な故障をもたらす危険性があります。

DVR MediaPlayer にチェックを入れた場合

パスワード : バックアップデータを暗号化するパスワードです。ソフトウェアキーボードの全文字の組み合わせによって最大 8 桁のパスワード文字列を設定できます。(大文字小文字は区別されます) DVR MediaPlayer にチェックを入れた場合 (exe 形式)、入れない場合 (STRG 形式) の両方で再生画面に入る前にパスワードダイアログが表示され、正しいパスワードが入力されない限り再生は行われません。



※ BackupViewer (HDxViewer 付属ソフトウェア) で再生する場合には、HDxViewer3.0.1.38 以上に付属の BackupViewer を使用しなければなりません。HDxViewer3.0.1.37 以下に付属の BackupViewer を使用した場合は、パスワードの有無に関わらず再生できてしまいます。

HDx Viewer 3.0.1.38 は以下のサイトからダウンロードできます。

<http://www.tenpo.co.jp/download/>



DVRMediaPlayer (.exe): インターネットエクスプローラーで自動的に再生されるプレーヤープログラムを内蔵します。Internet Explorer7.0 以上が必要です。

- 注意:**
- ① バックアッププロセス中にクライアントプログラムを使用し、システムは遠隔操作からモニター / 再生されますと、バックアッププロセスは遅くなります。
 - ② データバックアップが処理されている間、バックアップメディアを移動させないで下さい。バックアッププロセス中に、バックアップメディアを移動させますと、メディアまたはシステムへの重大な故障をもたらす危険性があります。

4-2. インスタントバックアップ

再生中にバックアップボタンを押して、Instant Backup を起動させて下さい。

通常速度再生モードの時、「バックアップ」ボタンを押すと、Instant Backup ウィンドウが表示されます。デバイス、ファイル名、オーディオを選択して、また再生やバックアップのため、「Start」を押して下さい。Backup Icon は Instant Playback の間、画面上に表示されます。「バックアップ」ボタンをもう一度押して、Instant Backup を停止また終了させて下さい。

- 注意:**
- ① データバックアップが処理されている間、バックアップメディアを移動させないで下さい。バックアップ作業中に、バックアップメディアを移動させますと、メディアまたはシステムへの重大な故障をもたらす危険性があります。
 - ② インストールバックアップが処理中である時、Playback 速度は通常より遅くなります。

4-3. クリップ作成



PC 上で再生出来るシングルチャンネルバックアップファイルを作成するために、クリップ作成を使用します。再生時のライブまたは停止モードの時、ポップアップメニューから[クリップ作成オプション]を選択して下さい。

クリップ作成のために[バックアップオプション]を選択して下さい。スタートボタンを押して作成して下さい。作成したファイル (m4v 形式) は Quick Time Player (バージョン 7.6.5 以上)を使用して再生できます。

- 注意:**
- ① Window Media Player などの他のプログラムでクリップ作成ファイルを再生することはできません。
 - ② m4v 形式を再生できる他のプレーヤープログラムでは、再生映像が乱れたり同期が取れないなどの問題が起きる場合があります。

5. ネットワーク監視 – Web Viewer

5-1. Web ビューアー

Internet Explorer 経由で DVR のセットアップ、ライブウェブ監視、プレイバック機能へのアクセスが可能です。

5-2. Login

Internet Explorer のアドレスバーへ DVR の IP アドレスもしくは登録時のホストネームを入力すると、Remote Monitoring System へアクセスが可能です。

(例)

ウェブポートが 80 (デフォルト値)	http://hostname.autoipset.com または 211.104.176.143 (IP アドレス値指定)
ウェブポートがデフォルト値で無い場合	http://hostname.autoipset.com:Web port または 211.104.176.143: ウェブポート (IP アドレス値: ウェブポート番号指定)

ポート番号のチェックは DVR MENU > Network > Address > Port で可能です。

ライブもしくはプレイバック機能を利用するためには、DVR のログイン画面で ID、パスワード、ポート番号を入力してください。



ID : DVR の管理者 ID もしくはユーザー ID

(デフォルト ID: 管理者もしくはユーザー)

Password : DVR の管理者もしくはユーザーのパスワード

(デフォルトパスワード: “1111”)

Port Number : DVR のポート番号 (デフォルト値: 10101)

* ポート番号に関する詳細は、3-5-1. MENU > Network > Address > Port (P.) を確認して下さい。

Live : ライブウェブモニター

Playback : DVR の記録データの検索と再生


5-3. ライブ


ライブウェブモニターと DVR のセットアップにアクセスできます。

DVR で音声を有効にしているチャンネルを選択状態にしたとき、Remote Monitoring System を動作させている PC のスピーカーからライブの入力音声聞こえます。




<画面右上 ボタン説明>


 : 1 つのチャンネルビューモードで
表示チャンネルを変更


 : 1 つのチャンネルビューモード

 : 4 分割ビューモード

 : 9 分割ビューモード

 : 16 分割ビューモード

 : フルスクリーンビューモード

 **Setup** : DVR 構成を変更。
(管理者権限のみ)



Setup ボタンを押すと、DVR の設定変更が可能です。

6. 再生 (PlayBack)

DVR の録画データを検索、再生できます。



DVR で音声を有効にしているチャンネルを選択状態にしても、録画音声は遠隔接続では再生されません。

⏮ : 逆高速再生 (X2, 4, 8, 16, 32)

⏪ : 高速再生 (X2, 4, 8, 16, 32)

⏴ : 選択した日時のデータの始めに移動

⏶ : 選択した日時のデータの終わりに移動

⏸ : 一時停止

⏮ : 逆再生

⏪ : 再生

⏴ : 1 フレームの逆再生



⏶ : 1 フレームの再生


6-1. カレンダー検索

カレンダーから、録画データを検索するために特定の日付を選択してください。



カレンダー内で日付が赤く表示されたところに録画データが記録されています。さらに、選択された日付は、黄色で表示されます。

  : 月 / 年の変更

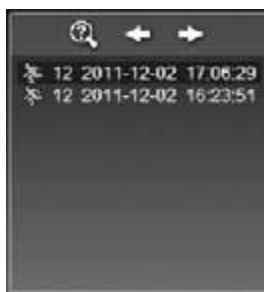
 : 特定の時間を入力して、データを検索

 : DVR の録画データ情報を更新

6-2. イベント検索

イベント検索機能から録画イベントデータを検索できます。

イベント検索アイコンボタンをクリックすると、Event Search ウィンドウが出てきます。次に、日付を選択して **OK** ボタンをクリックして下さい。そして、イベントリストから表示したいイベントをダブルクリックすることで再生できます。



Change the Event List pages



再び違う日付のイベント検索を行う場合

注意：低いパフォーマンスのビデオカード（特にオンボードタイプ時にビデオメモリー割当が少ない機種）を使用されている場合、Web ビューアはビデオを適切に表示できない場合があります。

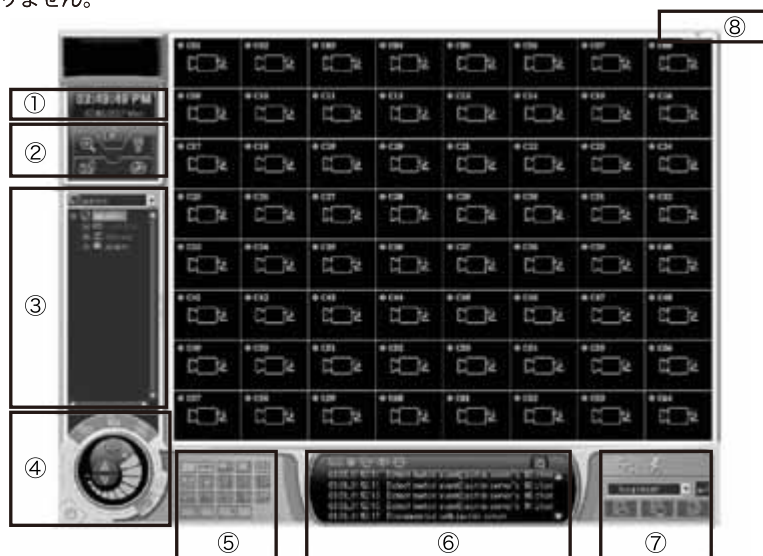
6-3. HDxビューワー

HDxビューワーの詳細は別途「HDx Viewer Software User's Manual (Ver.x.x.x)」をご参照ください。
本取扱説明書に含まれる内容は基本的な使用方法に限定しております。HDxビューワーはネットワークを通して、最大16台のHDx DVRを統合監視できます。HDxビューワーはDVRシステムに接続した最大64チャンネルのビデオ画面 (HDx Viewerの導入PCがデュアルモニタ仕様である場合は128画面可能)とPTZ制御プリセット設定、検索 (ローカル/遠隔) E マップなどの各種管理機能を表示することが出来ます。
※遠隔操作での同時アクセス数は、ライブ 4 アカウント、再生 2 アカウント、設定 1 アカウントになります。

動作環境

	最低限要求仕様	推奨要求仕様
OS	Windows 2000 以上	Windows XP 以上
CPU	Pentium 4 以上	Core 2 以上
メインメモリ	512MB 以上	2GB 以上
ビデオカード	必要 (CPU共用は不可)	Radeon7000 以上
ビデオサイズ	128MB 以上	128MB 以上
画面サイズ	1024 × 768	1280 × 1024
ディスプレイモード	YUY2	YUY2

※ カラーフォーマットの初期化はYUY2になっています。現状市販のパソコンでは、通常この設定で問題ありません。



- ① 現在の日付、時刻が表示されます。
- ② 検索、スクリーンキャプチャー、セットアップ、E-マップで使用します。
- ③ HDxビューワーに登録されているDVRのリストが表示されます。
- ④ プログラムの終了、サーバーの接続と切断、管理、およびPTZコントロールで使用します。
- ⑤ 分割画面の選択に使用します。
- ⑥ HDxビューワーが検出したログを表示します。
- ⑦ シングルチャンネルプレーヤー、ネットワーク録画と再生、編集とプリセットの切り替えに使用します。
- ⑧ 画面を最小化します。

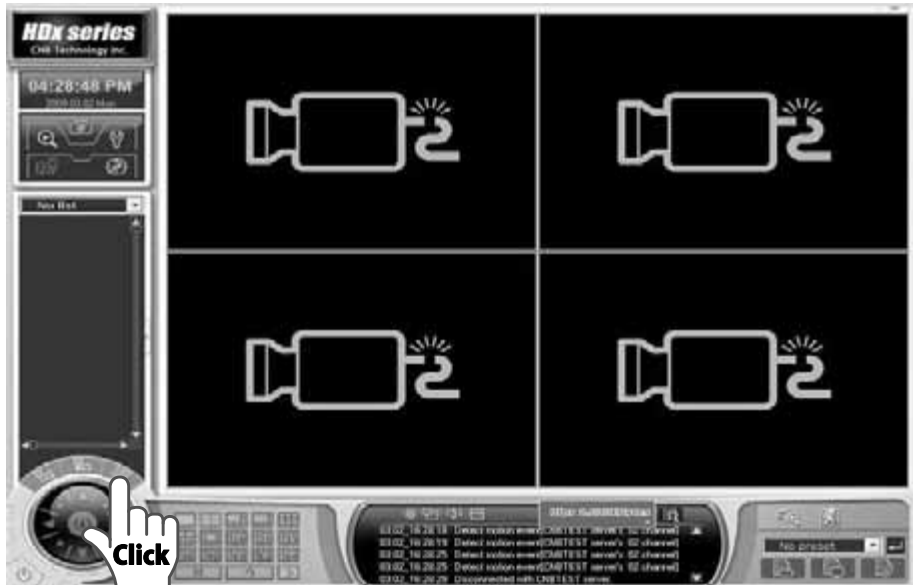
6-3-1. クイックスタート

6-3-1-① ライブ

HDxビューワーでライブモニタリングができます。

1. コンピューター上にHDxビューワープログラムをインストールして、デスクトップのHDxビューワーアイコンをダブルクリックし、プログラムを起動して下さい。

2. サーバーリストメニューをクリックして下さい。



3. サーバーリスト管理ウィンドウでサーバー情報を入力して、“追加”をクリックして下さい。



サーバー名前：使用したいサーバー名を入力して下さい。

サーバーアドレス：DVR IPアドレスかDDNSホスト名を入力して下さい。

(DVRメニューアドレスかDDNSのDVR IPアドレスかDDNSホスト名を確認できます)

接続ポート：DVRアクセスポート番号を入力して下さい。(デフォルトポート番号：10101)

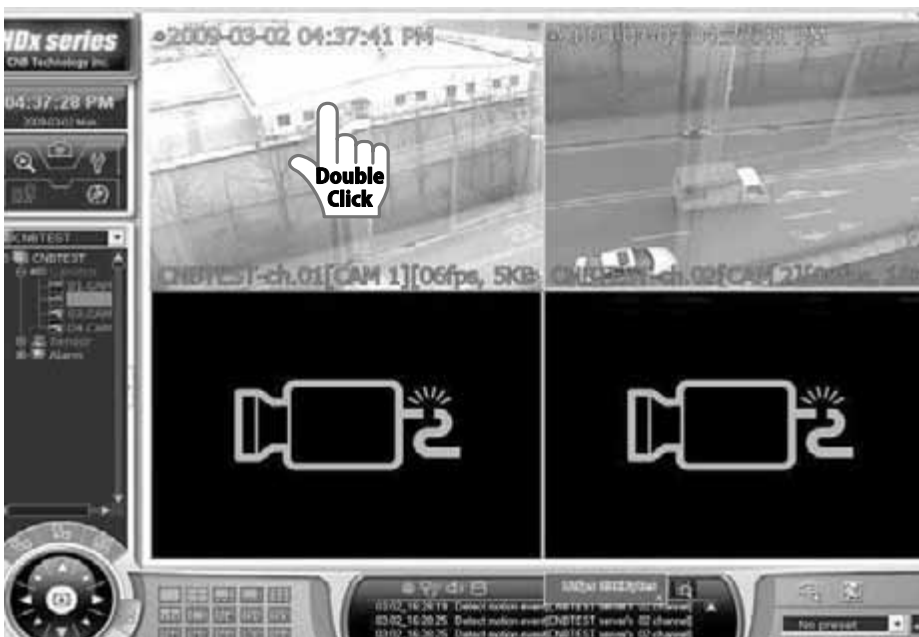
ユーザーID：DVRログインID-デフォルトと同じユーザーIDを入力して下さい：admin

ユーザーパスワード：DVRログインパスワードを入力して下さい-デフォルト：1111

4. サーバーリスト上のDVRを選択して、次に“接続” ボタンをクリックして下さい。



5. 以下のライブモニターのように、表示されている分割画面表示から1画面表示に変更するには、1画面表示にしたいカメラ番号の画面をダブルクリックして下さい。



DVRで音声を有効にしているチャンネルを選択状態にした時、HDxビューワーを動作させているPCのスピーカーからライブの入力音声がかかります。

6-3-1-② 検索

ユーザーはDVRに録画されたビデオを検索また再生することができます。

1. DVRへアクセスした後に検索ボタンをクリックして下さい。



2. 遠隔選択からDVRサーバーを選択して、“確認” ボタンをクリックして下さい。



3. 検索するために日付、時間、分などを選択して下さい。



4. 「プレイボタン」をクリックして録画されたビデオをご覧ください。
5. 「プレイボタン」をクリックしてライブモニタリングモードに戻して下さい。



DVRで音声を有効にしているチャンネルを選択状態にした場合、画面左上部には

#(カメラch番号)-時:分:秒 Audio IN
と表示され、録画音声を遠隔再生できます。
音声入力が無効になっているカメラchにはAudio INの表示は付きません。
音声再生が途切れたり、再生出来ない場合は1画面表示にして下さい。ネットワークの状態によって、正しく再生できない場合があります。



6-3-2. セットアップ


ユーザーはHDxビューワーからDVR構成をネットワーク越しに設定できます。

1. DVRへのアクセス後にセットアップボタンをクリックして下さい。



2. 遠隔でセットアップするためにDVRサーバーを選択して下さい。
次に、“確認” ボタンをクリックして下さい。



3. DVR本体での操作と同じグラフィカルユーザーインターフェースを利用してDVRの設定変更ができます。☒ボタンをクリックするか  をクリックして、セットアップウィンドウを閉じる事が出来ます。



6-3-3.サーバーリスト表示

サーバー名、IPアドレス、カメラ、およびセンサー登録情報がHDxビューワに表示されます。サーバー(接続とイベント)とデバイス(カメラ、センサー、およびアラーム)の状態も表示します。








6-3-4.プログラムの終了／ボリューム／PTZコントロール／サーバー接続／切断



PTZ方向制御ボタン：

ボタンをクリックすると、その方向に
少しだけ旋回などの動作をします。
クリックし続ける(押したままにする)と
離すまで動き続けます。

	プログラム終了ボタン： ボタンをクリックすると、HDxビューワーを閉じる認証ウィンドウが動作します。 プログラム終了、システム終了、システム再起動から動作を選択します。
	接続ボタン： ボタンをクリックしますと、サーバーリストから選択されたサーバーへ接続します。
	切断ボタン： ボタンをクリックしますと、サーバーリストから選択されたサーバーを切断します。
	サーバーリスト管理ボタン： ボタンをクリックしますと、サーバ管理ウィンドウが表示します。
	PTZコントロールボタン： ボタンをクリックしますと、PTZコントロールウィンドウが起動します。



音量調節ボタン

ボリュームボタン：

ボタンをクリックすると音量が上下します。



音声ボタン：

ボタンをクリックするとオーディオ出力します。



音声ボタン：

ボタンをクリックするとオーディオ出力をミュートします。

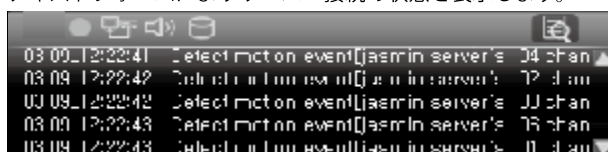
6-3-5.分割画面、全画面表示、および切り替え

ダブルクリックしますとデザインに応じたレイアウトで画面表示することが出来ます。

表示位置は個別にプリセット登録することが出来ます。(次項6-3-7 参照)

6-3-6.イベントログ画面

テキストフォームによりサーバー接続の状態を表示します。



	左から録画動作のステータス、ネットワーク接続、ハードディスクのステータス
	ネットワークの現在状態を示します。
	ビューイベントボタン： ボタンをクリックしますと、イベントログビューアーが作動します。

6-3-7.シングルチャンネルプレーヤー、ネットワーク画面、プリセット




	シングルチャンネルプレーヤーボタン： チャンネルを選択後にボタンをクリックしますと、シングルチャンネルのウィンドウが起動します。
	ネットワーク録画ボタン： ボタンをクリックしますと、 '作動状態' アイコンを変更し、HDxビューワーがインストールされたPCシステムにビデオを保存します。
	プリセットを設定後に“プリセットへ移動”ボタン をクリックしますと、現在のHDxビューワーに適用されます。
	プリセットへ移動ボタン： ボタンをクリックしますと、現在のスクリーンがプリセットスクリーンに変更します。
	プリセット切り換えボタン： ボタンをクリックしますと、登録済みのプリセットをスイッチング表示します。
	プリセット編集ボタン： ボタンをクリックしますと、プリセット編集ウィンドウが起動します。
	プリセットスクリーンボタン： ボタンをクリックしますと、プリセット追加ウィンドウが起動します。

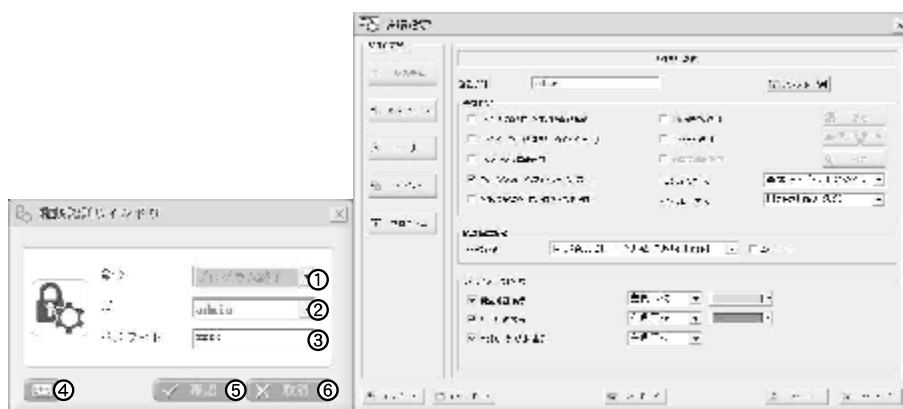
6-3-8.権限確認

HDxビューワーを使用するために認証ウィンドウで使用者を制限することが出来ます。

ログオン、ログオフ、プログラムの終了、プログラムの最小化、システムオフ、システムリスタートを
作動させることができます。

セットアップのシステムセットアップの中の ☒ ログオン/オフ機能使用 ボタンをチェックしプログラムを
スタートさせますと、権限認証ウィンドウが有効になります。

☒ ログオン/オフ機能使用 “ログオン/オフ”ボタンがクリックされると、 “プログラムシャットダウン”
ボタンがチェックされる時に権限認証ウィンドウが起動します。



- ① ログオン、ログオフ、プログラム 終了、プログラムの最小化のコマンドを選択できます。
- ② IDリストの選択と共に、ユーザIDを選択できます。ログオンウィンドウでHDxビューワーセットアップの
システムセットアップで ☒ ログオンのウィンドウでユーザリスト表示 “ショーユーザーリスト”のチェックを
つけますと、手動IDボタンでIDを入力できます。
- ③ ユーザーIDの入力パスワード
- ④ ボタンをクリックしますと、キーボードが 作動します。
- ⑤ ボタンをクリックしますと、コマンドリストのコマンドが作動します。存在しないID、間違ったIDや
パスワードを選択しますとコマンドは作動しません。
- ⑥ ボタンをクリックしますと、コマンドは作動せず、また権限認証ウィンドウは終了します。

6-3-9.スクリーンキャプチャー



現在のビデオと出力 (保存または印刷) のキャプチャーが行えます。



画面キャプチャでWatermarking (改ざん防止) にチェックを
いれて保存したバックアップ画像・映像は、製品付属CDに
収録されている付属ユーティリティ「VerifyWMx.exe」にて
改ざん 確認を行うことが出来ます。VerifyWMAはAVI動画像用で、
VerifyWMBはBMP画像用です。以下の例は、静止画像に
レタッチし 改ざん確認した場合で、改ざん箇所が指定色で
マークされModifyとして
表示されます。



6-3-10.サーバーリスト

マウスを右クリックしてメニューを選択できます。



① 接続されたDVRのみ見ます

ボタンをクリックしますと、サーバーリストの接続サーバーのみのリストを示します。

② 名前で見ます／アドレスで見ます／IPで見ます

各ボタンをクリックしますと、リストが名前、アドレス、およびIPアドレスになります。

③ 接続／接続解除

各ボタンをクリックしますと、サーバーの接続／切断をします。

サーバーの接続状態によって、以下のように変わります：

接続 → 接続

接続解除 → 接続解除

④ 全部接続／全部接続解除

各ボタンをクリックしますと、サーバーリストに登録された全てのサーバーに対して接続／切断します。

⑤ カメラを見ます／カメラを見ることを中止します

各ボタンをクリックしますと、選択したカメラの映像を表示／消去します。

カメラを見ます。 → カメラを見ます。

カメラを見ることを中止します。 → カメラを見ることを中止します。

⑥ カメラ録画／カメラ録画中止

各ボタンをクリックしますと、ビデオ録画の有／無ができます。
録画状態に従って、以下のように変わります：

カメラ録画 → カメラ録画

カメラ録画中止 → カメラ録画中止

⑦ アラームオン／アラームオフ

各ボタンをクリックしますと、アラームを作動／解除できます。
アラーム作動状態に従って、以下のように変わります。


アラームオン(ON) → アラームオン(ON)

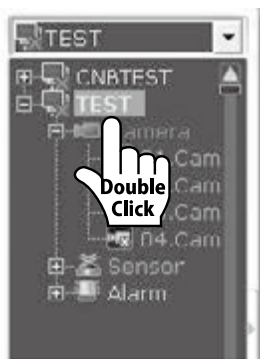
アラームオフ(OFF) → アラームオフ(OFF)


⑧ サーバー登録情報

ボタンをクリックしますと、サーバー登録情報を表示します。

6-3-10-① サーバー接続

1)  接続されていないサーバーをダブルクリックします。



2) 接続が確立するとアイコンの形が変わります。()


6-3-10-② サーバー切断

1) 接続サーバーをクリックして下さい。



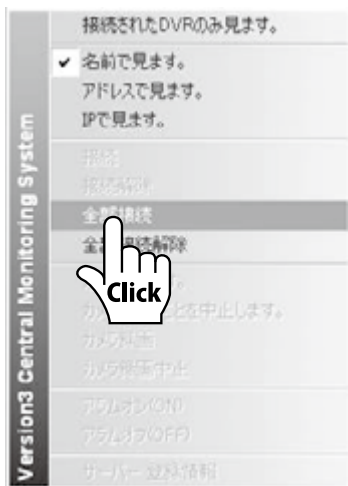
2) 切断するために切断ボタンをクリックして下さい。



3) 接続キャンセルすると、アイコンの形が変わります。()

6-3-10-③ 全サーバー接続

1) メニューのサーバーリストからマウスの右クリックによって示された、“全部接続”をクリックして下さい。



2) 接続サーバーのアイコンが変わります。(接続確立後)

3) メニューから“全部接続解除”をクリックしますと、全てのサーバーが切断されます。

6-4-10-④ ビデオ監視

1) 接続サーバーのカメラをダブルクリックしますと、カメラの映像を監視できます。



：カメラから映像が供給されています。




：カメラから映像が供給されていません。




：ビデオはHDxビューワーがインストールされるシステムに記録されています。

6-4-10-⑤ ビデオ監視しない

1) メニューのビデオとカメラ上でマウスの右クリックによって示される“カメラを見ることを中止”をクリックして下さい。(ツリーコントロールでカメラアイコンをダブルクリックして下さい。)

2) カメラのビデオは隠され、またアイコンが変化します。()
ドラッグアンドドロップで監視ビデオの解除を行えます。


6-4-11.サーバーリストの使用

サーバーリストのボタン  をクリックしますと、サーバーリスト管理ウィンドウが作動します。サーバー名、IPアドレス(サーバーの)、接続方法、およびサーバーの状態情報がサーバーリスト管理ウィンドウに表示されます。

リストにサーバーを追加または削除することができ、HDxビューワーと共に他のシステムで運用中のサーバーリストをインポートやエクスポートを使用して移動させることもできます。



6-3-12. シングルチャンネルプレイヤー


 “シングルチャンネルプレイヤー” ボタンをクリックしますと、シングルチャンネルプレイヤーウィンドウが作動します。フルモーション、静止画キャプチャー、PTZコントロール、ライブスクリーン、およびフルスクリーンを選択可能です。



6-3-13. プリセット

“プリセット追加” ボタンをクリックしますと、現在のスクリーン状態を保存できます。(クリックしますと追加プリセットウィンドウが作動しプリセットが追加されます) “プリセット編集” ボタンをクリックしますと、プリセットセットアップウィンドウが作動し、編集/追加/消去ができます。“スイッチング” ボタンをクリックしますと、プリセットを切り替えて表示します。


6-3-14. セットアップ

“セットアップ” ボタン()をクリックしますと、セットアップ選択ウィンドウが作動します。




セットアップ選択の“ローカル”または“遠隔”をクリックすることにより、HDxビューワーセットアップのサーバーセットアップを選択できます。“遠隔選択” ボタンをクリックしますと、現在接続されたサーバーが選択されます。“確認”または“取消”をクリックすることによりセットアップの開始と中止を行えます。

6-3-14-①.ローカルセットアップ


 “セットアップ” ボタンをクリックしますと、セットアップ選択ウィンドウが作動します。サーバーが接続できないと、HDxビューワーセットアップウィンドウが作動します。“ローカル選択” をクリックした後に“確認” をクリックすると、HDxビューワーセットアップウィンドウが作動します。システム管理者 (admin) のみがセットアップできます。

6-3-14-②.リモートセットアップ

 “セットアップ” ボタンをクリックしますと、セットアップウィンドウが作動します。接続できるサーバーが無い場合、HDxビューワーセットアップウィンドウが作動します。

セットアップするためにサーバーを選択し“遠隔選択”にチェックを入れて“確認” ボタンをクリックするとリモートセットアップウィンドウが作動します。システムを設定することができます。リモートセットアップとイニシャル画面のカメラ、スケジュール録画、ビデオイベント、センサー、アラーム、記憶装置、ネットワーク、ユーザー、およびメールをシステム管理者(admin)だけがセットアップを実行できます。

6-3-15.検索

 “検索” ボタンをクリックしますと、遠隔検索選択が作動します。



“遠隔選択” ボタンをクリックして現在接続されたサーバーを選択します。“確認” ボタンをクリックしますと検索ウィンドウが作動します。“取消” ボタンをクリックしますと検索は中止されます。



検索ウィンドウでは、カレンダー上の日付をマークしてから、再生選択ゾーンで特定の時間(赤帯の位置)をクリックして“再生” ボタンをクリックして下さい。“Live” ボタンをクリックしますと検索は中止されます。

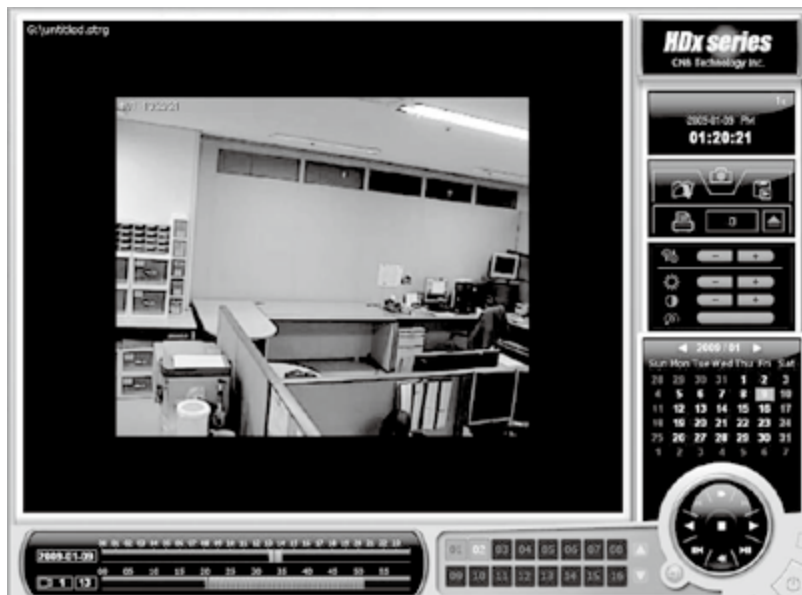


検索からAVI保存で作成したAVIファイルには音声記録されません。

従来のバージョンでは、ライブ接続されているDVRのみ検索より遠隔再生することのできる仕様でしたが、バージョン3.0.1.36よりライブが非接続状態であっても、検索で指定したサーバーを直接接続することができるようになりました(サーバーの登録は従来と同じく必要です)。これにより従来は検索再生だけを行う場合でも、ライブと検索で個別の通信セッションが張られてしまうためサーバーとの通信が非常に重たいという状況がありました。ただし、ライブ接続をした後で検索を行う運用では従来通りの動作となりますのでご注意ください。

6-3-16.バックアップビューアー

バックアップビューワープログラムでバックアップデータを再生できます。



バックアップビューワープログラムを実行する前にバックアップのSTRG形式データを保存するHDDやODD、USBフラッシュメモリーを接続しておいて下さい。

HDxViewer3.0.1.36でインストールされるバックアップビューワープログラムから、HDxDVRから取り外したHDDをWindows-PCに直接接続して再生する機能が追加搭載されました。Windowsのディスクアドミニストレーターから認識されるHDxDVRのHDDは以下のようなファイルシステム構造がフォーマットにより作成されています。



このHDDのパーティション領域はLinuxベースの独自方式ファイルシステム領域ですが、Linuxファイルを探るアプリケーションによって内部録画データや独自DBにアクセスは出来ません。またファイル構造の公開も致しておりません。



このボタンを使用しますと、ユーザーはバックアップデータをロード出来ます。ユーザーがファイルのロードに成功すると以下のようにバックアップデータの録画された日付がカレンダー上にマークされます。再生するためには、このマークされた日をクリックします。



HDxViewer3.0.1.36でインストールされるバックアップビューワープログラムの場合には、このボタンを押すとPCにHDxDVRから取り外したHDDが接続されている場合には左のような確認ウインドウが表示されます。HDxDVRのHDDが接続されていない場合、ここで[いいえ]を選択しますと、従来のバックアップビューワープログラムと同じようにSTRG形式ファイルを指定する画面に移動します。[はい]を選択しますとHDxDVRから取り外したHDDを探索してアクセス可能なHDD上のデータロードに成功すると以下のようにバックアップデータの録画された日付がカレンダー上にマークされます。再生するためには、このマークされた日をクリックします。



- 2 この色はバックアップデータが存在する日付を示します。
- 13 ユーザーが選択した日付を示します。

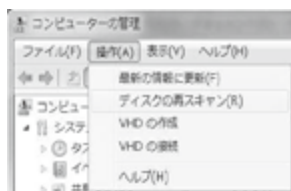
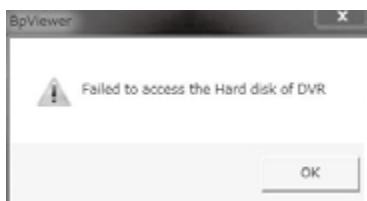


バックアップしたデータファイルに含まれている記録されたカメラ番号がマークされます。
(灰色表示データが存在しているカメラを示し、水色表示がユーザーにより選択されたカメラを表しています)

カメラ番号の1つを選択すると、記録されたイメージの最初がメイン画面に示されます。
また、記録された時間範囲は、以下のように再生選択ゾーンに表示されます。

STRG形式データファイルはマルチカメラバックアップを許容していますが、バックアップビューワーを使用しての再生は1指定カメラ毎にしか行えません。マルチカメラでの再生が必要な場合は、DVR Media Player (.exe)形式でのバックアップ再生をご利用ください。

【注意】HDxDVRから取り外したHDDを再生できない場合



HDxDVRから取り外したHDDに正常にアクセスできない状態、つまり外したHDDの物理的破損や論理的欠損(HDDエラー)によって探索出来なかった場合、アクセスに失敗したというメッセージを表示する場合があります。このように表示された場合には、Windowsディスクアドミニストレータに認識された領域がないことが考えられます。
このような場合には、PCからのSATAケーブルとSATA/パワーケーブルの接続を見直してみたり、ディスクアドミニストレータから“操作>ディスクの再スキャン”を実行してみてHDxDVRのHDDが正しく認識されていることを確認し直してください。Windows Vistaの場合には実行時に右クリックして“管理者として実行”をしなければディスク領域にアクセスできない場合があります。
なおHDDをWindows-PCに接続し、HDD領域を初期化してしまったり、パーティション構造を故

意、不注意によって書き換えてしまった場合にはHDxDVRの録画データを欠損もしくは失います。このようになってしまうと、そのHDDを如何なる手段でも再び読み込むことは不可能になりますので操作にはご注意ください。



再生選択ゾーンで検索する特定の時間を選択できます。



イメージ保存ボタン

ボタンをクリックしますと、現在の再生イメージがキャプチャーされ画像ウィンドウに表示されます。

CIF解像度の場合：352×240 ピクセル

HalfD1解像度の場合：704×240 ピクセル

D1解像度の場合：704×480 ピクセル

でのイメージ保存が行われます。



AVIに保存するボタン

動画ビデオファイルとして現在のビデオを保存できます。

用法：1. ビデオ再生でAVIに保存を開始したい場所でAVIボタンを押して下さい。

2. AVIに保存したいビデオの終わりまでビデオを再生して下さい。

3. 再生速度を増しても、AVIファイルは通常通り保存されます。

4. 停止ボタンをクリックしますと、保存されるAVIプロセスは

終了します。

AVI保存中は“AVIに保存するボタン”が水色表示され、画面下部に表示される

保存先ファイル名が白文字と赤文字で交互に点滅します。

音声付チャンネルをAVI保存しても、作成されたAVIファイルに音声は付きません。



印刷ボタン

ボタンをクリックしますと、現在のスクリーンに印刷リストと印刷実行ウィンドウが追加されます。



プリントビューボタン

ボタンをクリックしますと、印刷ウィンドウが作動します。



音量調節ボタン

DVRで音声録音を有効にしているチャンネルを選択状態にした場合、バックアップビューワープログラムでの録画音声をSTRG形式バックアップファイルでもHDx DVRからの取り外しHDDでも音声再生が可能です。

画面サイズボタン

ボタンの-/+で縮小/拡大が調節できます。



画面明るさボタン

ボタンの-/+で暗く/明るくが調節できます。




画面コントラストボタン

ボタンの-/+でコントラスト減少/コントラスト増加が調節できます。



画面デフォルト値ボタン

ボタンを押すと調節した画面状態をデフォルト値に戻すことができます。

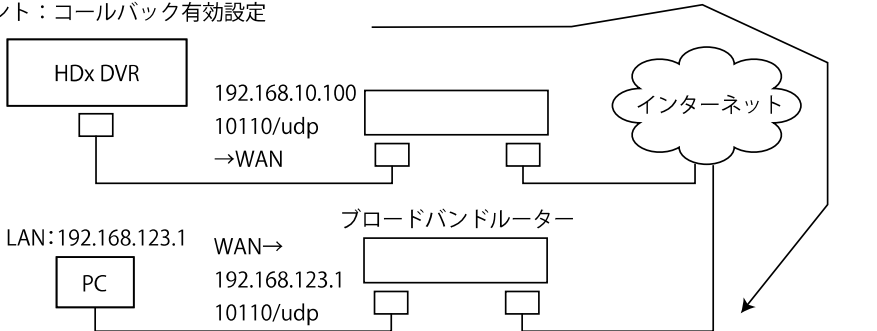
再生速度可変ボタン  を押すと、押すたびに 1x,2x,4x,8x,16x,32x と最大 32 倍速再生までをサポートします。

6-4.コールバックサーバー

HDxシリーズはDVRで発生する全てのイベントをリモートサイト上で動作するコールバックサーバープログラムに対して通知する遠隔通知機能を提供します。

LAN : 192.168.10.100

イベント : コールバック有効設定



通知機能を使用するためのコールバックサーバープログラムはHDxビューワのインストール時に同時インストールされます。

ADDRESS	DVR NAME	DATE/TIME	EVENT TYPE	TITLE
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:18:13	Motion	CAM3
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:18:13	Motion	CAM2
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:18:10	Motion	NOBODY
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:18:01	Motion	CAM4
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:18:01	Motion	CAM3
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:18:01	Motion	CAM2
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:18:01	Motion	NOBODY
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:56	Motion	CAM4
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:56	Motion	CAM3
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:56	Motion	CAM2
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:56	Motion	NOBODY
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:49	Motion	CAM4
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:49	Motion	CAM3
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:49	Motion	CAM2
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:49	Motion	NOBODY
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:43	Motion	CAM4
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:43	Motion	CAM3
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:43	Motion	CAM2
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:43	Motion	NOBODY
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:36	Motion	CAM4
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:36	Motion	CAM3
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:36	Motion	CAM2
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:36	Motion	NOBODY
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:30	Motion	CAM4
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:30	Motion	CAM3
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:30	Motion	CAM2
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:30	Motion	NOBODY
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:17	Motion	CAM4
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:17	Motion	CAM3
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:11	Motion	CAM2
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:11	Motion	NOBODY
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:17:11	Motion	CAM4

6-4-1.遠隔通知設定

指示に従って、通知機能を設定して下さい。

1. DVRの設定設定 MENU>ネットワーク>遠隔通知

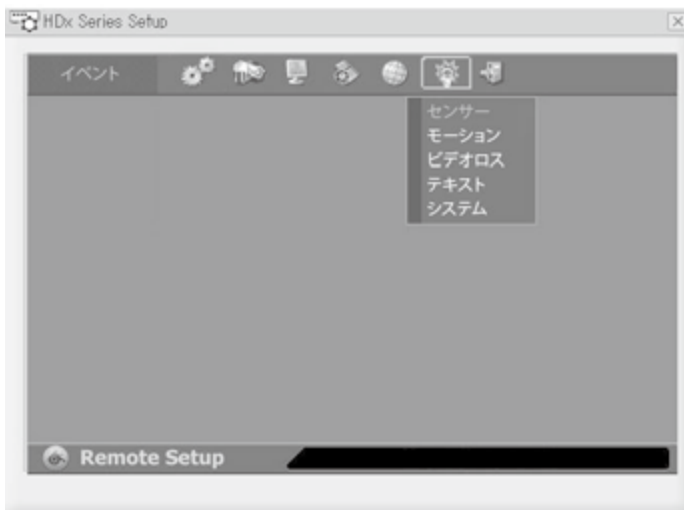


2. リモートサイトのIPアドレス(または、ドメイン名)とポート番号を入力して下さい。



コールバック通知の通信に使用するデフォルトポートは10110番のUDPポートになります。
(TCPポートではありませんので、ご注意ください。なお、コールバック通知はUDP/IPで送信されます。
UDPはパケットロスを検知できませんので、取りこぼしが発生します。
UDP/IP自体が受信を保証しない通信手段ですので、取りこぼしにより発生した直接的ならびに
間接的な問題・障害につきまして弊社は一切の責任を負いませんのでご了承下さい)

3. DVRセットアップ MENU>イベントと遠隔通知はそれぞれのイベントタイプにより機能します。



4. 以下の例では、モーションイベントに遠隔通知を設定している状態です。

DVR設定 MENU>イベント>モーション>遠隔通知

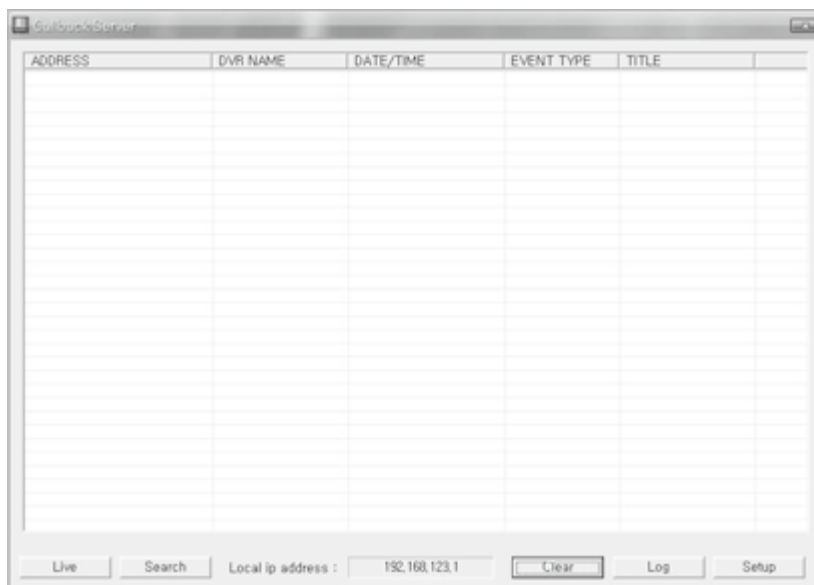


5. カメラ番号を選択して、コールバックの通知先を設定して下さい。またリモートサイトを確認して下さい。

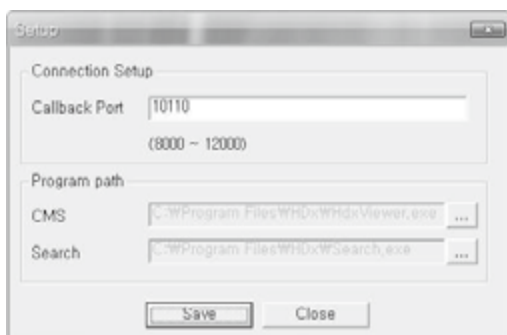


6-4-2.設定(Set up)

DVRからのコールバック通知を受け取るために、ユーザーはコールバックサーバプログラムを設定して下さい。



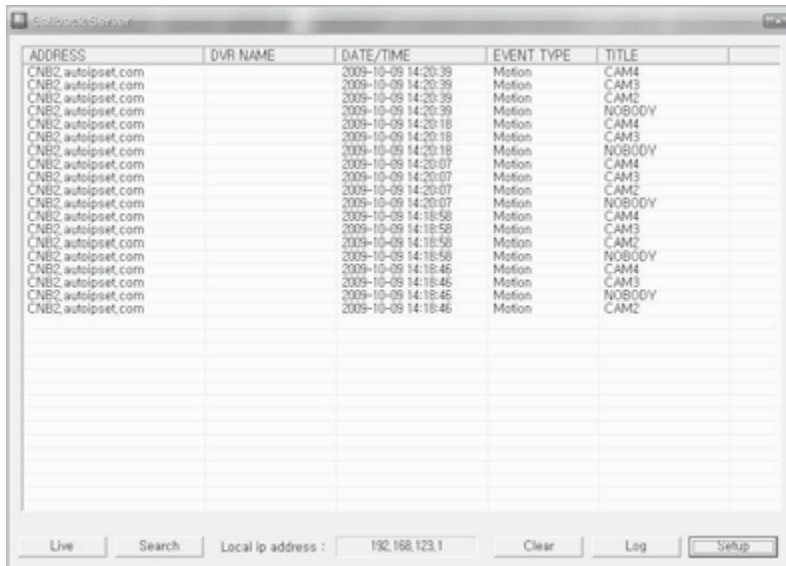
Setup(設定)：コールバックサーバの動作に必要な情報を構成して下さい。



コールバックポートと全てのプログラムパス(Path)を設定して下さい。

6-4-3.機能

DVRからのコールバック通知を受け取るために、ユーザーはコールバックサーバプログラムを設定して下さい。



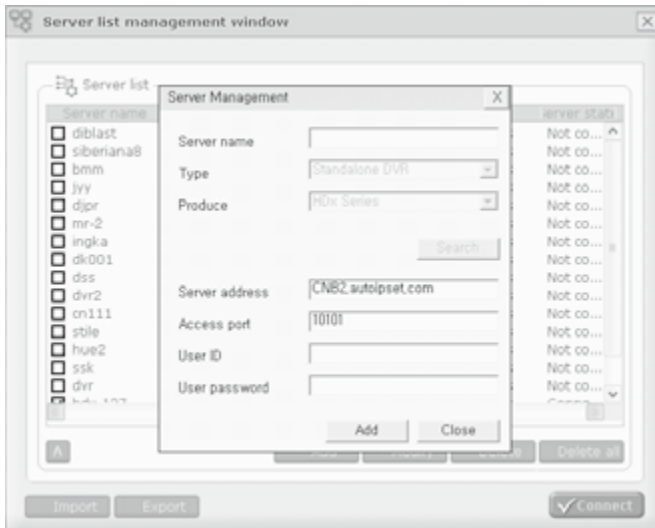
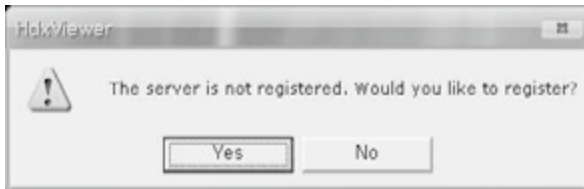
ADDRESS	DVR NAME	DATE/TIME	EVENT TYPE	TITLE
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:20:39	Motion	CAM4
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:20:39	Motion	CAM3
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:20:39	Motion	CAM2
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:20:39	Motion	NOBODY
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:20:18	Motion	CAM4
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:20:18	Motion	CAM3
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:20:18	Motion	NOBODY
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:20:07	Motion	CAM4
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:20:07	Motion	CAM3
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:20:07	Motion	NOBODY
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:18:58	Motion	CAM4
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:18:58	Motion	CAM3
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:18:58	Motion	CAM2
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:18:58	Motion	NOBODY
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:18:45	Motion	CAM4
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:18:45	Motion	CAM3
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:18:45	Motion	NOBODY
CNR2.autolpset.com		2009-10-09 14:18:45	Motion	CAM2

Live Search Local ip address : 192.168.123.1 Clear Log Setup

Live(ライブ)：イベント遠隔通知が送られたDVRのライブモードに接続します。
 HDxビューワパス(Path)は、HDxビューワーソフトウェアを起動してライブモードに接続するために設定して下さい。

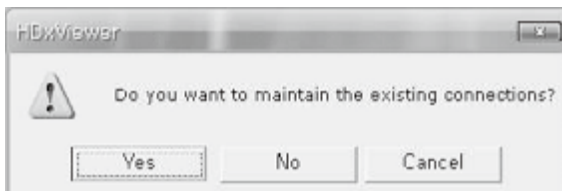


遠隔通知を受けたDVRがHDxビューワーのサーバーリストに登録されていない場合は、登録のためにサーバーリスト管理ウィンドウがポップアップします。

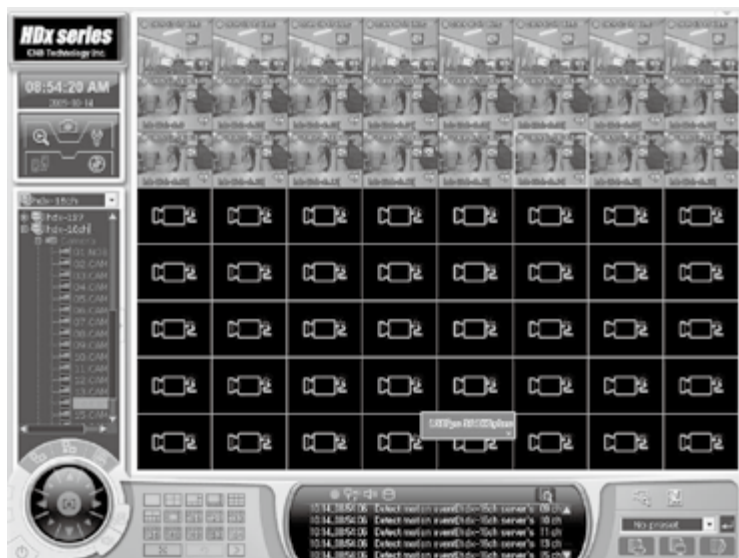


サーバー管理ウィンドウにサーバー名、IDとパスワードを入力して下さい。
また、“追加”ボタンをクリックして下さい。

HDxビューワーが既に他のDVRと接続されている場合、ユーザーは既存の接続を維持するかしないかを選択して下さい。



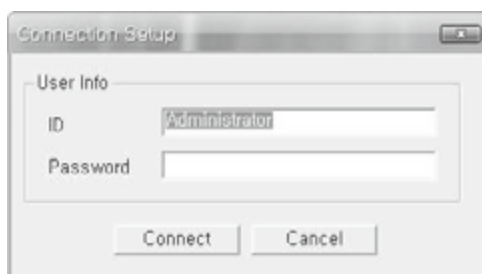
既存の接続を引き続きご使用になる場合、HDx ビューワー表示レイアウトは64チャンネルビューに変わります。そして、新たに追加されたDVRのカメラ映像表示は既存のカメラの直後に続けて表示されます。



既存の接続を切断する場合は、HDxビューワーは全ての既存の接続を切断します。そして、HDxビューワーは新たに接続したDVRのカメラ映像表示を行います。



Search(検索)：HDxビューワー検索プログラムが起動してイベントの起こった時間まで移行します。
“検索” ボタンをクリックした後に、接続設定ウィンドウがポップアップします。

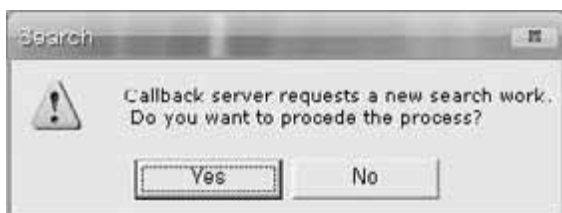


DVRのIDとパスワードを入力してから、“接続” ボタンをクリックして下さい。



イベント、遠隔通知が起こった時、検索プログラムが自動的に起動して、イベント遠隔通知の発生時間に移動します。

検索プログラムが既に開いていると、以下のメッセージウィンドウがポップアップします。

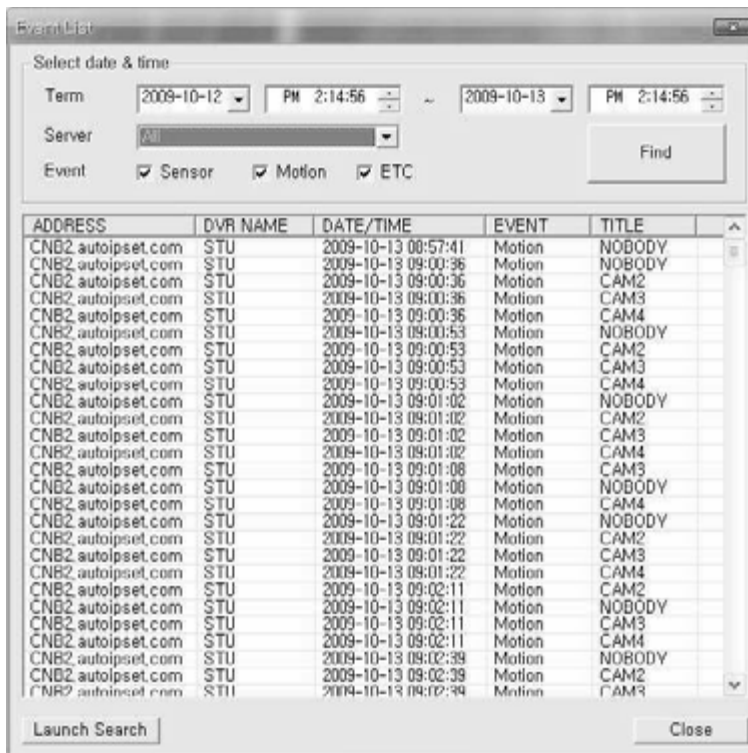


“Yes”を選択すると、新しい検索が始まります。

ローカルIPアドレス：コールバックサーバーがインストールされた、IPアドレス

クリア：リスト上のイベントを全て削除

ログ：受け取ったイベントログの検索



ユーザーは時間、サーバー名、またはイベントリストのイベントタイプからイベントを検索することが出来ます。ユーザーがリスト上のイベントをダブルクリックすると、検索プログラムを通してイベント発生時の録画内容を確認できます。

付録 A. DDNS

DDNS (ダイナミックドメインネームサーバー)

(DDNS) はダイナミック IP またはスタティック IP アドレス (IP Camera、DVR、および Web Server) を示すホスト名を作成します。また、ホスト名を作成し DVR のダイナミック IP アドレスで動作するアップデートメカニズムを提供します。autoipset.com に登録した後またはお申し込みなしで DDNS サービスをご利用できます。

A-1. autoipset.com に参加した後に、DDNS サービスを使用

A-1-1. autoipset.com に登録してください。

Internet Explorer プログラムを作動させ、Internet Explorer のアドレスバーで <http://www.autoipset.com> を入力して下さい。以下のように DDNS サービスに関してウェブページをご覧になれます。



autoipset.com に登録するために、「Registration」リンクをクリックしてください。

User ID : [Check ID]
(Up to 20 characters)

Password : Confirm :
(Up to 20 characters)

Name :
(Up to 20 characters)

E-mail :
(Please input an E-mail address that you want to get your password info when you forgot your password.)

空欄に正確な情報を入力し、「Submit」ボタンを押して下さい。決定する前に同名のユーザー ID の重複を確認するために「Check ID」をクリックして下さい。

A-1-2. ログインしてください。

ID と Password を入力してログインして下さい。ログインした後に、以下の製品リストのように、登録された DVR のリストが表示されます。

DDNS Service for DVR - Windows Internet Explorer

www.autoipset.com/user/ist.php

DDNS Service for DVR

User List

Product List

Edit User Info

Log out

	Hostname	Public IP	Status
	dvr1.autoipset.com:80	211.104.176.100:80	
	dvr2.autoipset.com:80	211.104.176.101:80	

[delete]

※ If you click your hostname, it will directly open your IP Camera, DVR, or Web Server page.
 ※ If you want to delete your registered hostname, please click [Delete] key after selecting the hostname.

The last connection time with DDNS

	In 5 minutes
	Between 5 and 20 minutes
	More than 20 minutes
	Naver connected to DDNS

인텔 | 부호 모드: 설정 100%

A-1-3. ダイナミック DNS 登録

DVR の DNS メニューを選択して下さい。
DVR > MENU > ネットワーク > ダイナミック DNS



まず始めに、ご使用になりたいホスト名を入力して、Use ID のチェック・ボックスを選択して下さい。
次に、autoipset.com に登録した ID と Password を入力して、「Update」ボタンを押して下さい。
最後に、“DDNS: アップデート成功” のメッセージが表示されたら、すべての登録手続きが終了します。

A-1-4. ダイナミック DNS 管理

ステータス	ステータスの意味
● (緑)	最後にアップデートしてからの経過時間が 5 分以内
▲ (黄)	最後にアップデートしてからの経過時間が 5 分以上、20 分以内
● (グレー)	最後にアップデートしてからの経過時間が 20 分以上
× (赤)	アップデート履歴なし

A-1-5. 登録された DDNS を削除する場合

	Hostname	Public IP	Status
	dvr1.autoipset.com:80	211.104.176.100:80	
	dvr2.autoipset.com:80	211.104.176.101:80	

[delete]

削除したい DVR DDNS を選択して、次に [Delete] リンクを押してください。

A-2. autoipset.com に申し込みをせずに、DDNS を使用する場合

DVR の DDNS メニューを選択して下さい。

DVR > MENU > ネットワーク > ダイナミック DNS



The screenshot shows a dark-themed window titled "NETWORK : DDNS". At the top, there is a checkbox labeled "Use DDNS" which is checked. Below this, there are two input fields: "DDNS Server :" with the value "autoipset.com" and a dropdown arrow, and "Hostname :" with the value "DVR" and a dropdown arrow. Further down, there is a checkbox labeled "Use ID" which is unchecked. Below this, there are two more input fields: "ID :" and "Password :", both with empty text boxes and dropdown arrows. At the bottom of the window, there are three buttons: "Update", "OK", and "Cancel".

ご使用になりたいホスト名を入力し、次に「Update」ボタンをクリックして下さい。“DDNS: アップデート成功”のメッセージが表示されたら、すべての登録手続きが終了します。

付録 B または C いずれかをお選びいただき、ご使用ください

付録 B. デジタルサイネージデータ作成

データは "filename_00001.jpg"、"filename_00002" のようなフォーマットで名付けられている必要があります。そして、ファイル解像度は NTSC の場合は 704x480、PAL の場合には 704x576 でなければなりません。1 つの写真あたりイメージサイズは 256KB より少ないようしてください。

「ビデオ」としてのデジタルサイネージの再生間隔は 15ips によるビデオ表示と規定されています。ビデオをデジタルサイネージデータに変換するために、以下の手順を参照してイメージシーケンス作業を行ってください。

B-1. VirtualDub プログラムと Codec をインストールしてください。

フリーウェアビデオエディタプログラムが必要です。ここでの例では VirtualDub を使用します。

Web ブラウザで <http://virtualdub.sourceforge.net/> を開いて VirtualDub プログラムをダウンロードしてください。2012 年 3 月現在、最新版は VirtualDub-1.10.1.zip となっています。



ダウンロードしたら VirtualDub-1.10.1.zip を解凍して、VirtualDub.exe プログラムを開き、VirtualDub.exe を実行してください。このプログラムはインストールプロセスを必要としていません。

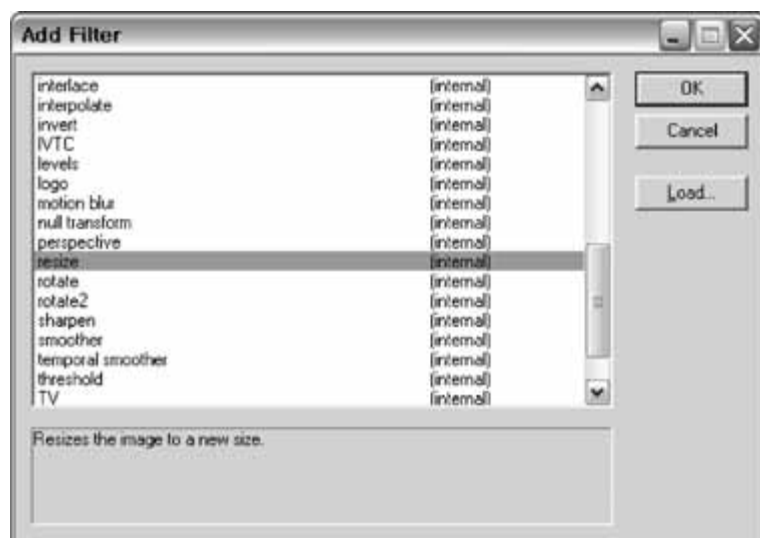
VirtualDub は、VFW 互換の (Video for Windows) コーデックを使用します。あなたが Video for Windows コーデックの完全版をインストールする必要がある場合は http://www.codecguide.com/download_kl.htm から、K-Lite コーデックパックなどをダウンロードすればフルバージョンの VFW コーデックをインストールすることができます。

注意： VirtualDub は、ビデオを伸長することを Video for Windows 互換の (VFW) コーデックに要求します。DirectShow コーデック (Windows Media Player により用いられる) は、適当ではありません。

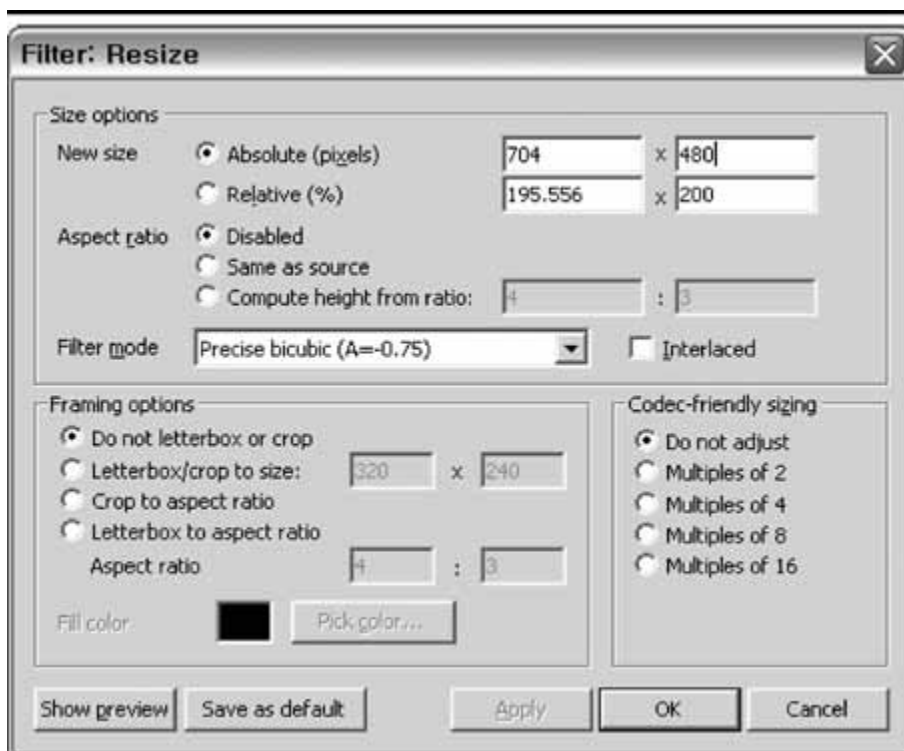
B-2. イメージシーケンスの作成

編集したいビデオファイルを開いてください。例えば、デジタルサイネージのための 360x240 サイズ広告ビデオファイルである commercial.avi のようなファイルを想定します。

ビデオ・サイズをコントロールするために、Video をクリックして、更に Filter... をクリックします。そして、Add ボタンをクリックして、Add Filter ウィンドウを開きます。

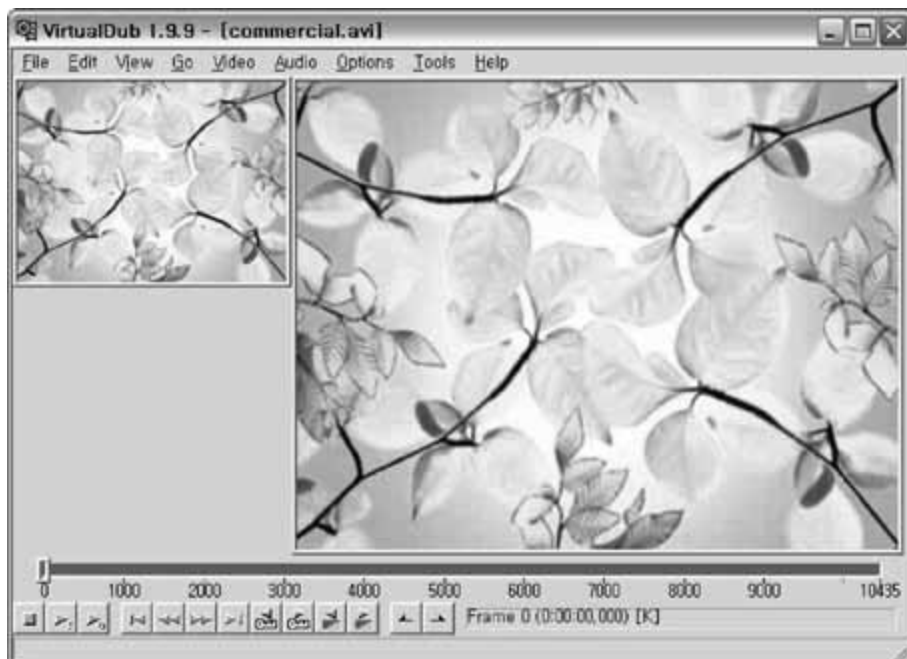


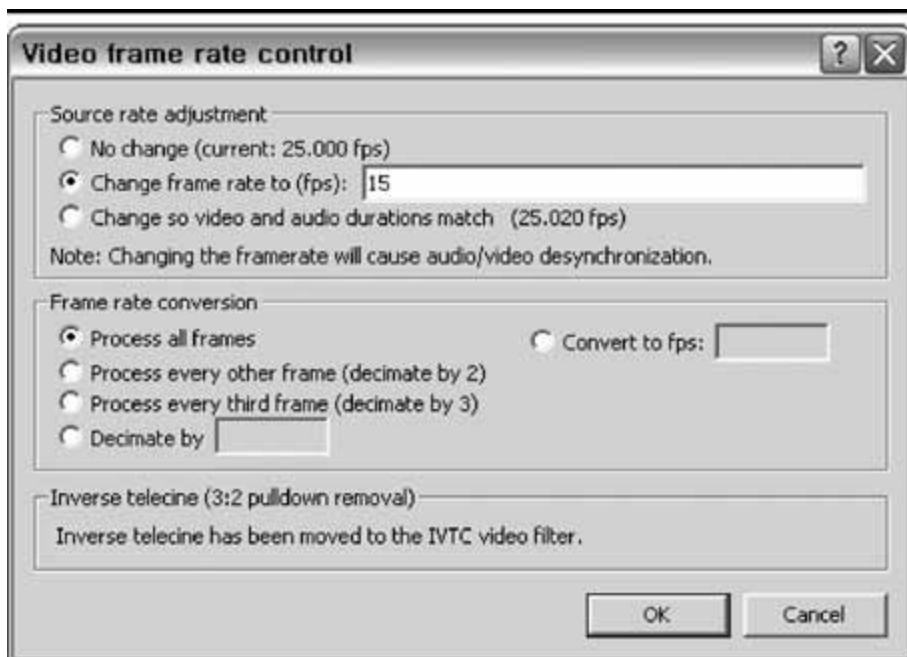
フィルターツリーから「resize（リサイズ）」を選んで、OK ボタンをクリックしてください。



はじめに、Aspect Ratio を "Disabled" を選んでください、そして、新しい変換サイズのために Absolute を選んで、704x480 (PAL の場合には 704x576) に値を変えて、**OK** ボタンをクリックしてください。

下で示されるように、フィルタをかけられたファイルサイズは拡大されます。



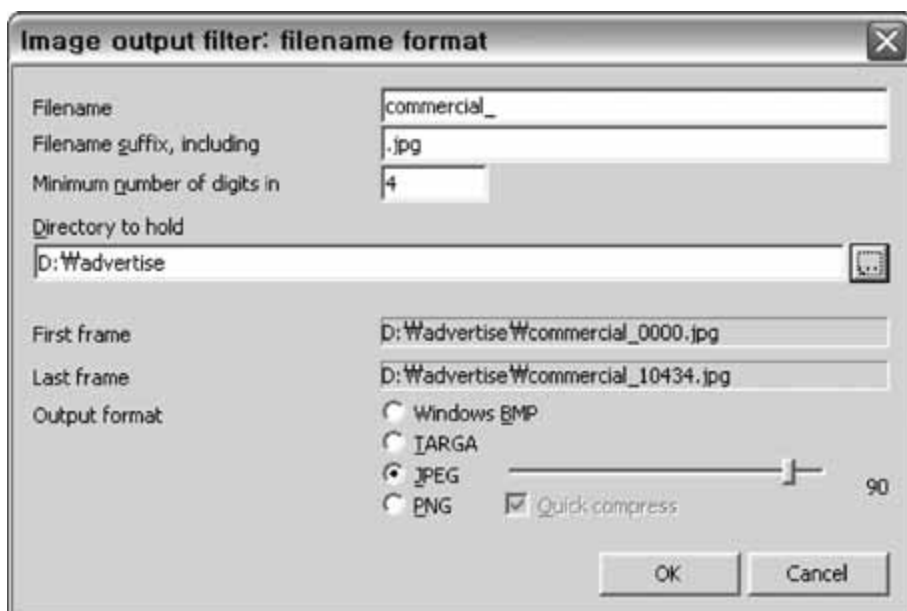


次に、Video > Frame rate (フレームレート) をクリックしてください。

Change frame rate to (fps) : を選択して、フレームレートを "15" に設定して、**[OK]** ボタンをクリックしてください。

File > Export > Image Sequence を選択すると以下のようなウィンドウが開きます。

advertise データは、USB フラッシュメモリーの "advertise フォルダ" に同じフォーマット形式 "ファイル名_5桁連番.jpg" のファイルに構成されていなければ DVR から認識することができません。以下の例ではファイル名が "Commercial_".jpg (JPEG 形式 90%品質) のファイルを、D ドライブに接続した USB フラッシュメモリーの "\advertise フォルダ" に作成する設定です。**[OK]** ボタンをクリックしてデジタルサイネージデータを作成してください。出来たデータは、2-3-4 項(P.34)に従って入力してください。



付録 B または C いずれかをお選びいただき、ご使用ください

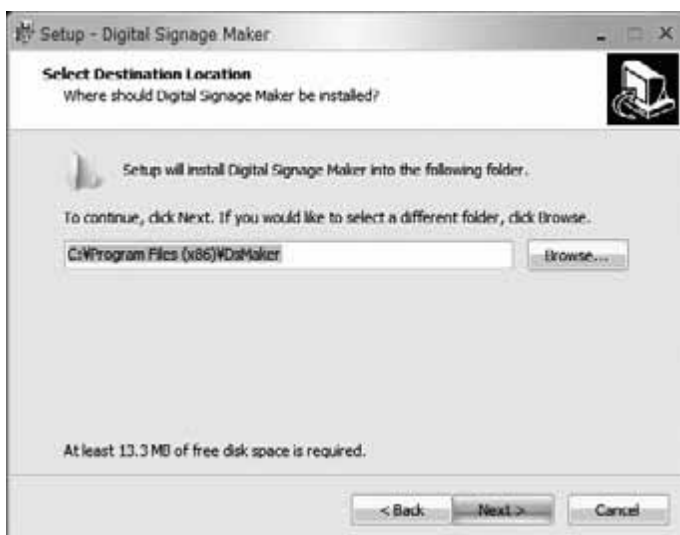
付録 C. DigitalSignageMaker 使用方法



- ① DSMaker は E Model DVR 用の電子広告データを作成する為のソフトウェアで、マニュアルに記載している Virtualdub を使用した作成方法と、いずれかの手段を提供します。出来上がる電子広告データに差異は殆どありません。
- まずはインストーラである “DigitalSignageMaker_Setup_Ver2.0.1-20110608.exe” をダブルクリックして実行します。



- ② DSMaker のインストールウィザードが起動します。[NEXT >] をクリックします。



- ③ DSMaker のインストールフォルダを指定して [NEXT >] をクリックします。

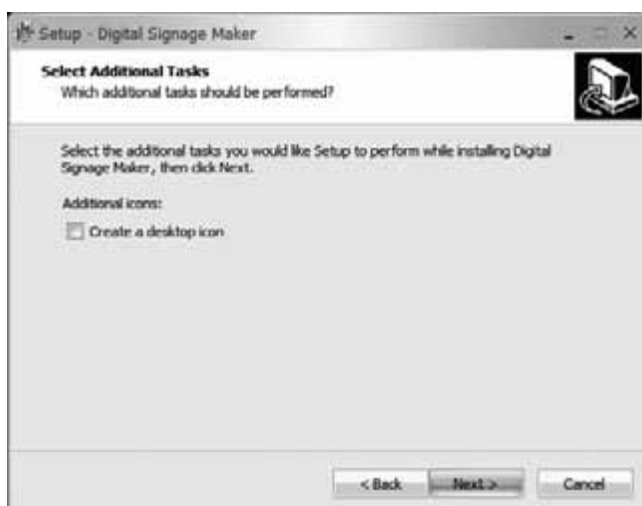
インストールデフォルトフォルダは、
C:\Program Files (x86) \DSMaker と
なります。



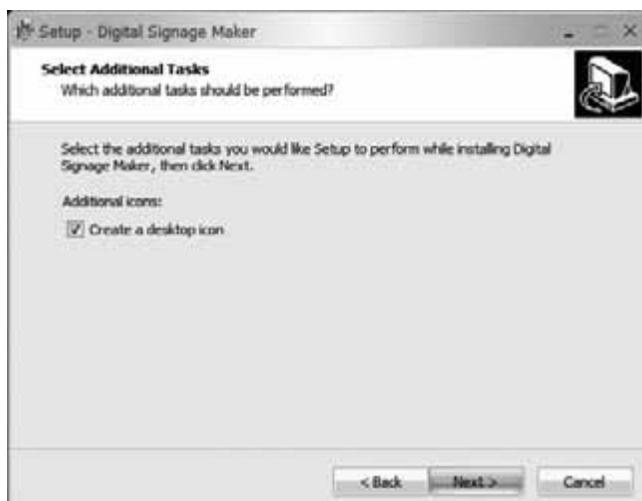
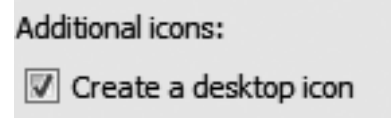
- ④ スタートメニューに追加する DSMaker のフォルダ名称を指定して [NEXT >] をクリックします。

デフォルトフォルダ名称は、“DSMaker”となります。

再変更したい場合には [<Back] をクリックして全画面に戻り変更して下さい。



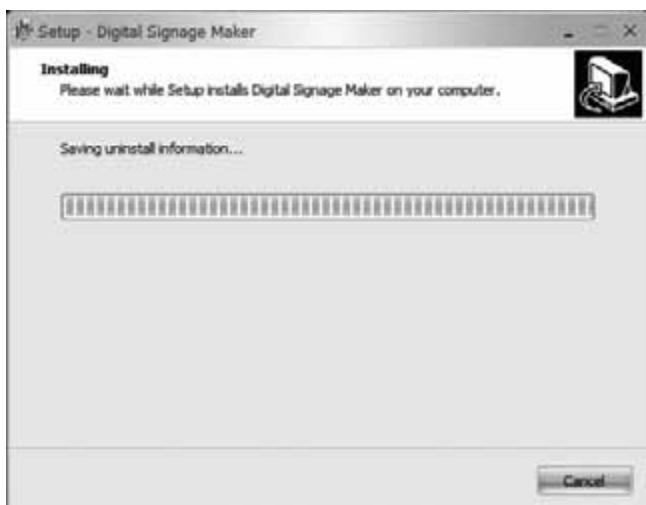
- ⑤ Windows デスクトップにアイコンを追加する場合は “Create a desktop icon” をチェック指定して [NEXT >] をクリックします。



再変更したい場合には [<Back] をクリックして全画面に戻り変更して下さい。



⑥準備が整ったらインストールを開始します。
設定要件を再度確認して間違いが無ければ
[NEXT >] をクリックします。
再変更したい場合には [<Back] をクリック
して全画面に戻り変更して下さい。



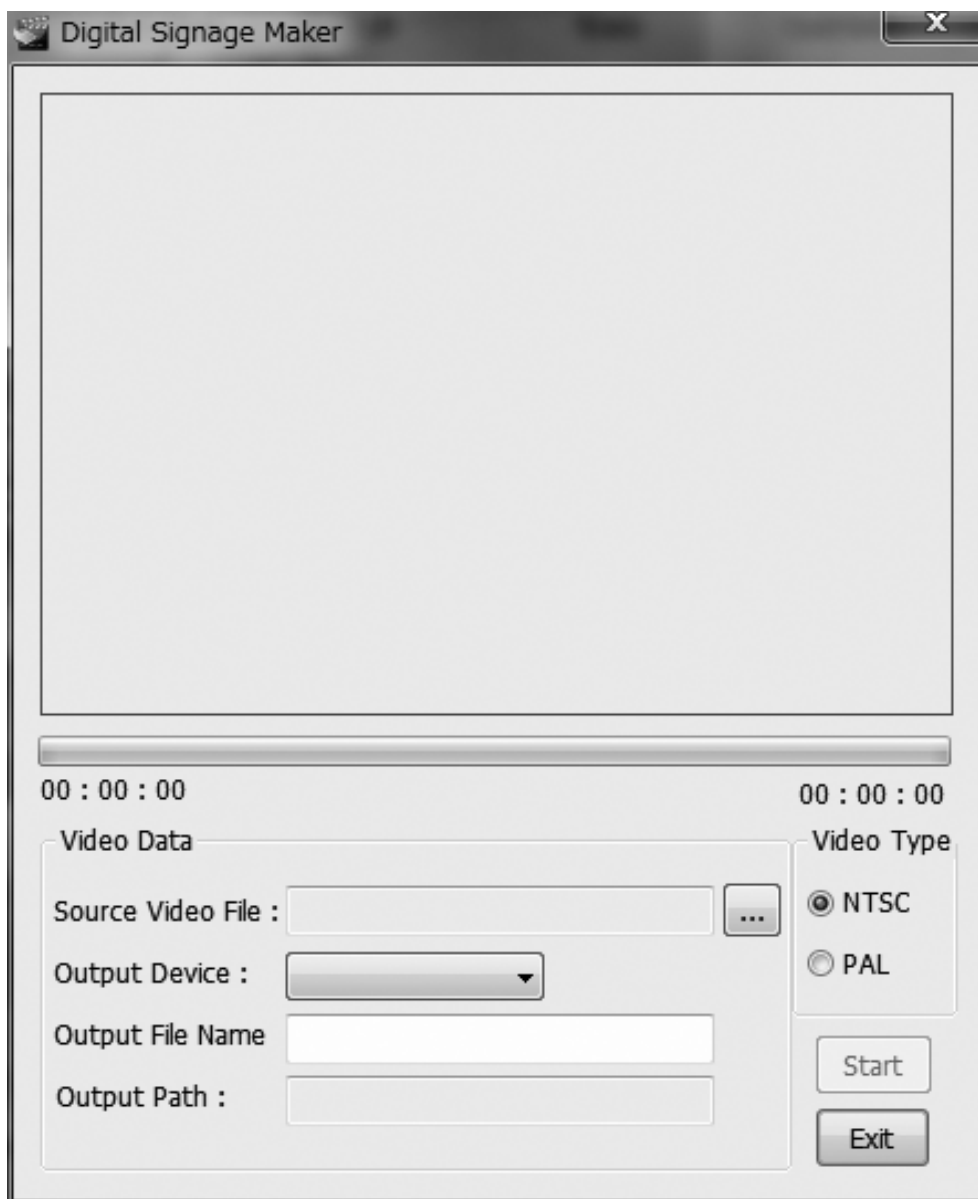
⑦インストール進捗がプログレスバーにより表
示されます。
もし途中で作業を停止したい場合には
[Cancel] をクリックします。



⑧インストールが完了したら [Finish] をクリッ
クします。
インストーラを閉じて DSMaker を直ぐ
に起動したい場合には "Launch Digital
Signage Maker" にチェックを入れて
[Finish] をクリックしますと DSMaker アプ
リケーションが自動的に起動します。



⑨インストールが完了して、⑤で Create a desktop icon を指定した場合には Windows デスクトップに “DigitalSignageMaker” アイコンが作成されています。④でスタートメニューに追加をした場合には、[スタート]-[すべてのプログラム] から指定したフォルダ名称を探してクリックし、その中のプログラムアイコンをクリックすることでアプリケーションの起動が可能です。





30fps1min.avi

⑩ 電子広告データに変換したい AVI ファイルを用意します。

Source Video File に、この用意したファイルを指定します。

Video Type に電子広告出力するビデオタイプを指定します。

Output Device には出力先となるドライブ名を選択します。

Output File Name には %OutPut Device%\advertise\○○_00001.jpg の
○○の部分に相当する分かり易い名称を指定します。

Output Path は上記の入力によって自動構成されますので入力する物ではありません。

⑪ 準備が整ったら [Start] をクリックします。



電子広告データ作成中は、アプリケーションウィンドウ上部のイメージ枠が変化し、[Start] が [Stop] に変わっています。

データ作成が終了すると、特に何のメッセージ表示も無く⑨の設定入力前の起動時の空白状態に戻り、[Exit] のみが選択できる状態になります。



⑫ [Exit] をクリックして [OK] をクリックするとアプリケーションを終了します。



⑬指定した Output Device に advertise フォルダが作成され、その中に自動的に作成された電子広告データが保存されています。

この“advertise フォルダ” 毎、USB フラッシュメモリのルートフォルダにコピーまたは移動して DVR のディスプレイ：デジタルサイネージ画面から [入力] で電子広告データを E Model DVR に入力してください (2-3-4 項参照 P.34)。



付録 D. 遠隔ライブ / 再生機能

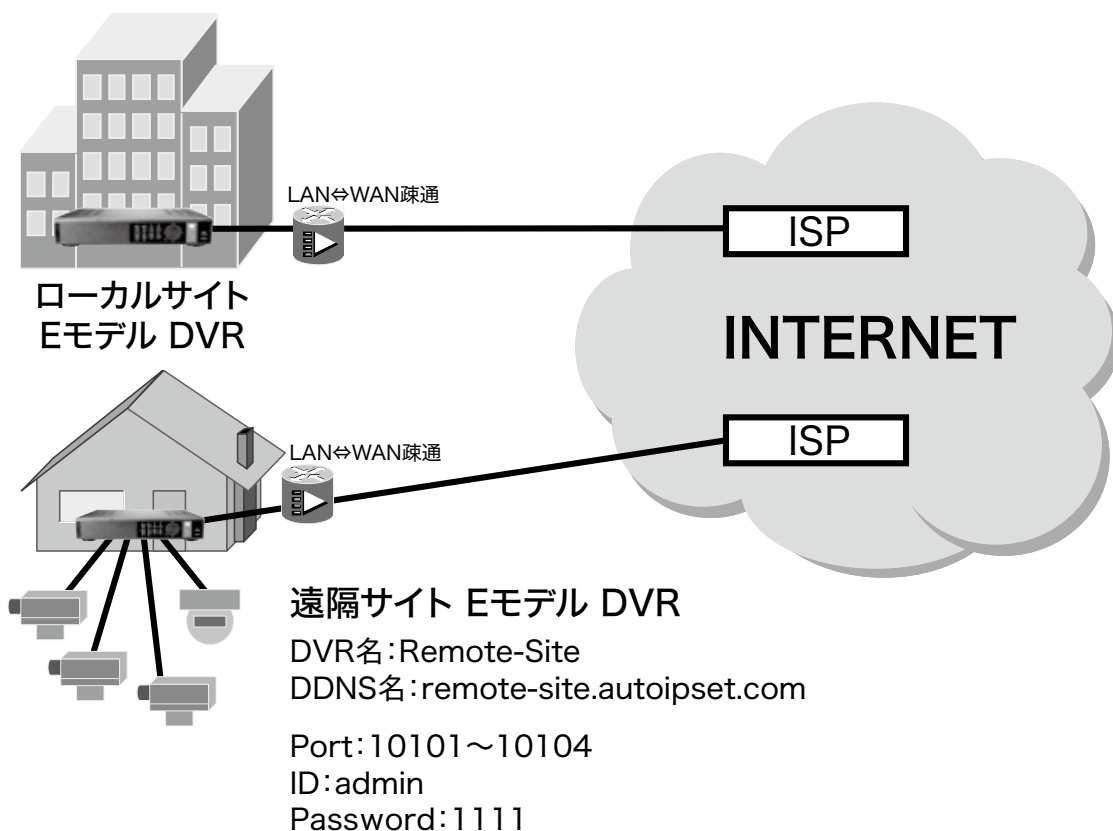
1. システム構成

遠隔ライブ / 再生機能はブロードバンドルータ等で接続された異なる設置場所のリモートサイトをローカル DVR の画面上に、PC 上で動作する専用クライアントアプリケーションやウェブブラウザを使用することなく表示する機能です。ローカルエリアネットワーク内の DVR 間接続も、INTERNET 越しに WAN 間の DVR 接続を行なうことも出来ます。

この説明書では以下のようなネットワーク構成を例にして接続の手順を説明します。(この説明書では触れませんが、遠隔接続する側される側の両方のブロードバンドルータにて DVR と INTERNET を疎通できるように静的 IP マスカレード設定もしくは、NAT/NAPT、アドレス変換など各メーカーによる呼称および実装形態は異なりますが、別途設定が必要となります)

【チャンネルサポートのシナリオ (仕様) 上の制約事項】

HDS4848E → HDE2424E/HDF1212E、HDE2424E → HDF1212E のように、CH 数の多いモデルから少ないモデルへの接続と同型機同士の接続は FW バージョンが同一 (最新状態) であることを条件に動作確認をしておりますが、CH 数の少ないモデルから多いモデルへの接続は「製品はサポートされていません」とエラー表示が出て動作しません。これは仕様上の制約なので、バグではありません。ご注意ください。



2. 遠隔ライブ



コンテクスチュアルメニューの遠隔＞ライブを選びます。
まずは、遠隔サイトを登録します。**編集** を押して、**+**を押します。



項目の移動はカーソルを、
決定は Enter を使用します。

カーソル



名：接続サイトの名前

アドレス：IP アドレスまたは autoipset.com による FQDN 名

ネットワークポート：遠隔サイトのライブポート番号

オートログイン（自動でログイン手続）する場合は ☐ にチェックして、遠隔サイトにて設定されているユーザー権限（ID、パスワード）を指定します。

オートログインしない場合には、毎回 ID およびパスワードの入力が遠隔サイト接続時に必要になります。

入力が終わったら、**OK** を押します。




遠隔サイトの登録には、接続元のローカル画面上でのソフトウェアキーボードのみ使用できます。ネットワーク接続越しなどでは設定自体が行えません。



遠隔サイトのリスト画面に戻ったら、**閉じる**ではなく、まず**終了**を選んでこの操作により入力された遠隔サイト情報が DVR に反映されます。単純にを押してしまうと折角入力した遠隔サイト情報が DVR に反映されませんのでご注意ください。

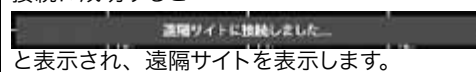
終了が押され、反映が終了すると **終了** ボタンは **編集** ボタンに復帰します。(上図)



遠隔>ライブの遠隔サイトで登録した遠隔サイトリスト情報は、同じ行にて遠隔>再生の側の遠隔サイトにも反映(自動的に登録)されます。接続に移るには、今、登録した遠隔サイト行にフォーカスして  を押します。

Enter ボタン

接続に成功すると



と表示され、遠隔サイトを表示します。

先述しましたとおり、オートログインをチェックしなかった場合には、ログイン ID とパスワードの入力が必要になります。





遠隔サイトの表示分割数などは、通常の DVR 操作と同じく Display ボタンから行います。遠隔で機能する DVR フロントのボタンは通常は Display と MENU だけです。他の機能ボタンは動作しません。(カーソル、Enter を除く)

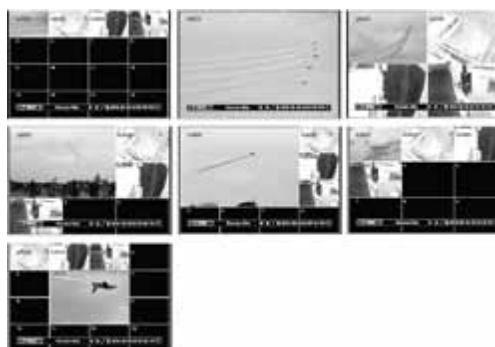
遠隔ライブ中に Enter ボタンまたは MENU ボタンを押すと、「遠隔ライブ：ユーザー名」コンテクシャルメニューが表示されます。



カメラ：通常の DVR 表示と同じく表示可能なカメラのリストが表示されます。

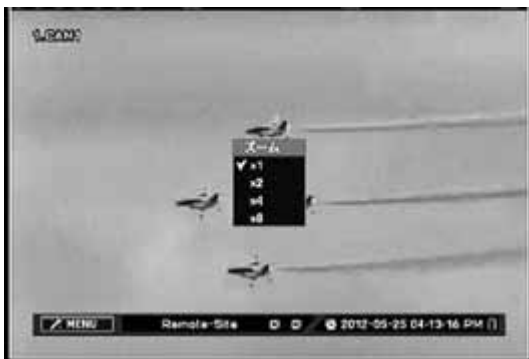


表示レイアウト：1 画面と 6 種類の分割表示が選択できます。



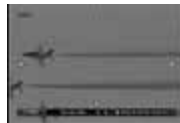
OSD：通常の画面での表示と同じく、OSD なし、OSD のみ、OSD +ステータスバーの 3 種類が選択できます。



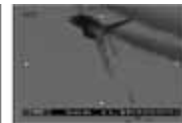


< 1 倍 >

ズーム : 1 倍表示画面と 2 倍・4 倍・8 倍が選択できます。画面の任意の場所をカーソル移動で拡大表示します。デジタルズームであるため、拡大によって画質は低下します。



< 2 倍 >



< 4 倍 >



< 8 倍 >

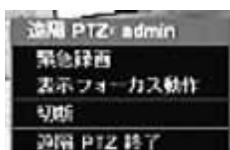


音声 : 遠隔接続先に音声入力のあるカメラチャンネルがある場合に、そのカメラチャンネルを 1 画面表示モードで選択した場合に、その入力音声を再生することができます。チェックをして有効にすることと、チェックを外してミュートすることができます。



遠隔 PTZ : 遠隔接続先に PTZ カメラがある場合に、通常の DVR 操作画面からの PTZ 操作と同じ手順で遠隔サイトの PTZ 操作をすることができます。マウスを使用して画面上の OSD アイコンを使用して操作することも、DVR フロントボタンから操作することもできます。





遠隔 PTZ 上の画面で MENU ボタンまたは Enter ボタンを押すと「遠隔 PTZ: ユーザー名」コンテキストメニューが表示されます。



Menuボタン



Enter ボタン

遠隔 PTZ を終了するには「遠隔 PTZ 終了」にフォーカスして Enter ボタンを押します。



切斷：遠隔ライブの通信セッションを切斷します。「ユーザーによって切斷されました」との表示が出ます（上図）ので、再度コンテキストメニューから操作を選んでください。

ただし、遠隔再生に移りたい場合は遠隔ライブコンテキストメニューから直接移ることはできませんので、一度「遠隔ライブを終了します」を選んで通常のライブ画面に戻ってから、遠隔>再生を行ってください。



接続状態




切斷状態

3. 遠隔再生



遠隔再生の場合も、ライブコンテクシャルメニューから遠隔>再生を指定します。



遠隔再生の場合も、遠隔サイトを指定して接続します。接続に移るには、今、登録した遠隔サイト行にフォーカスして  を押します。

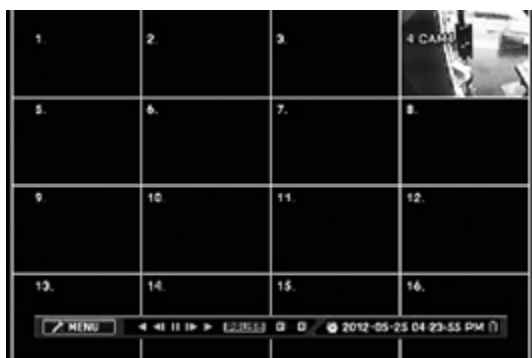
Enter ボタン

接続に成功すると




と表示され、遠隔サイトを表示します。

通信セッションが遅延している場合、その情報が整うまで「読み込み中…」と表示する場合がありますが、しばらくそのままお待ちください。



先述しましたとおり、オートログインをチェックしなかった場合には、ログイン ID とパスワードの入力が必要になります。

一番現時間に近いデータブロックの先頭が読み込まれ表示されると  されている状態になります。



MENU ボタンを押して、「遠隔再生:ユーザー名」コンテクシャルメニューを表示させます。



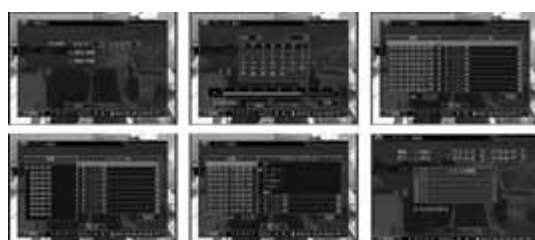
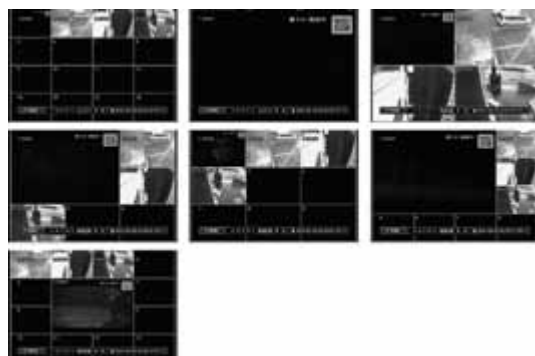
Menu ボタン

遠隔サイトの表示分割数などは、通常の DVR 操作と同じく Display ボタンから行います。遠隔で機能する DVR フロントのボタンは通常は Display と MENU だけです。他の機能ボタンは動作しません。(カーソル、Enter を除く)



カメラ：通常の DVR 表示と同じく表示可能なカメラのリストが表示されます。

表示レイアウト：1 画面と 6 種類の分割表示が選択できます。



検索：通常の DVR での再生と同じユーザーインターフェースで再生検索操作が行なえます。

指定：時間指定 (最初 / 最後) します。5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 30 秒 / 60 秒前に戻します。

カレンダー検索：カレンダーからの日付とタイムバーを指定します。

イベント検索：日付とイベント種類からリスト検索します。

テキストイン検索：テキストイントランザクションログに記録されたワードから、特定の指定した検索ワードを元に検索します。



OSD : 通常の画面での表示と同じく、OSD なし、OSD のみ、OSD +ステータスバーの 3 種類が選択できます。

ズーム : 1 倍表示画面と 2 倍・4 倍・8 倍が選択できます。画面の任意の場所をカーソル移動で拡大表示します。デジタルズームのため、拡大によって画質は低下します。



1 倍



2 倍



4 倍



8 倍



音声 : 遠隔接続先に音声録画のあるカメラチャンネルがある場合に、そのカメラチャンネルを 1 画面表示モードで選択した場合、その録画音声を再生することができます。

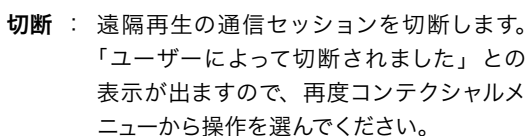
チェックをして有効にすることと、チェックを外してミュートすることができます。



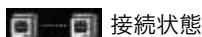
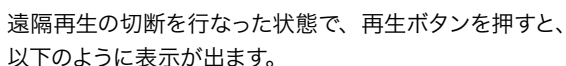
音声有効



ミュート



遠隔再生から遠隔ライブに移りたい場合には、遠隔ライブのところで説明と同じく、遠隔再生コンテクシャルメニューから直接移ることはできませんので、一度「遠隔再生を終了します」を選んで通常のライブ画面に戻ってから、遠隔>ライブを行なってください。



緊急録画： 遠隔ライブ/再生中に、それぞれのコンテクシャルメニューから緊急録画を指定するとローカルDVRの緊急録画を指示することが出来ます。

表示フォーカス動作： 主要なモニターと別のモニターを切り替えます。また、遠隔ライブと遠隔再生を行なった場合にはシステムログに遠隔ライブ / 再生のログが記録されます。


付録 E. スマートフォン(iPhone / Android)での閲覧について

当 DVR には、iPhone と Android プラットホームのために作られた iMon2 アプリケーションがあります。利用される場合は、スマートフォンから App Store や Google play にアクセスして iMon2 をダウンロード、インストールしてください。インストール後、スマートフォンから 3G(LTE)回線及び Wi-Fi を通じて DVR のライブ / 再生 / セットアップが可能になります。

iMon2 ではセットアップ画面にもアクセスすることが出来るため、離れた場所から、その DVR のアラームログを見ることもできます。また、Push Notification(プッシュ通知)機能を利用することにより、iMon2 アプリを常時起動しておくことなく、DVR 上のモーション動作、アラーム動作、システムアラーム動作の情報を、プッシュ通知イベントとして受け取れるようになります。

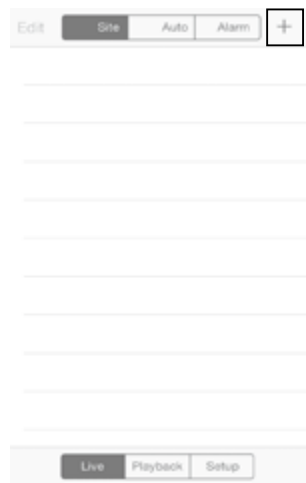
< iPhone > Android 編は P.111 ~をご覧ください。


1. インストール設定

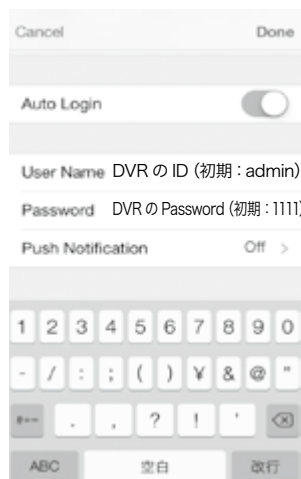
- ① App Store () を起動後、iMon2 と入力し検索します。
- ② iMon v2 が表示されたら、無料ボタンをクリックします。
- ③ インストールボタンをクリックします。



- ④ 「開く」ボタンをクリックします。
- ⑤ 右上の+ボタンをクリックします。
- ⑥ Name, Address, Live port (変更時) を入力します。



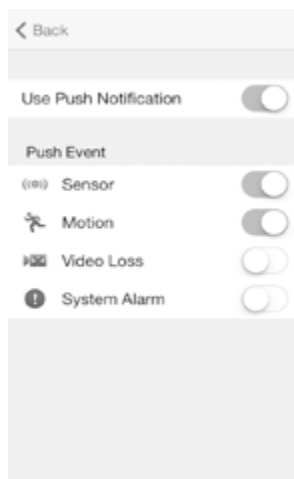
- ⑦自動ログイン*を利用する場合は、Auto Login を ON () にして、User Name・Password を入力します。



***自動ログイン**

接続時の User Name、Password の入力を省略できます。

- ⑧ Push 通知*を利用する場合は、⑦の画面で Push Notification をクリックし、通知項目を ON にします。



***Push 通知**

選択した項目でイベントが発生すると、以下の様に表示されます。

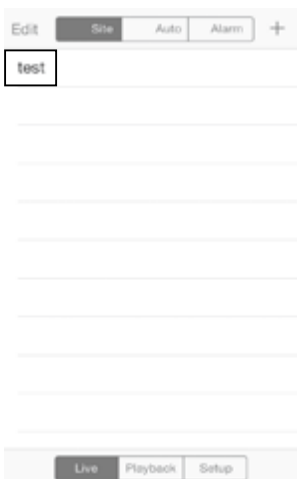


- ⑨すべての入力が終わったら画面右上の Done をクリックします。



2. ライブ表示

- ①画面下のメニューが Live になっていることを確認後、登録した Name をクリックします。

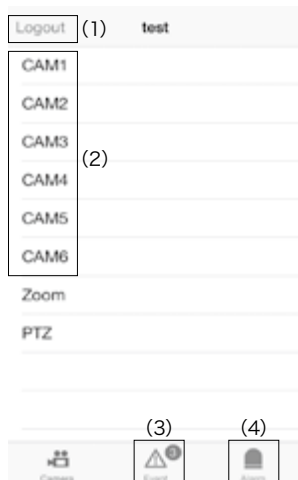


- ② DVR のカメラ名が表示されます。

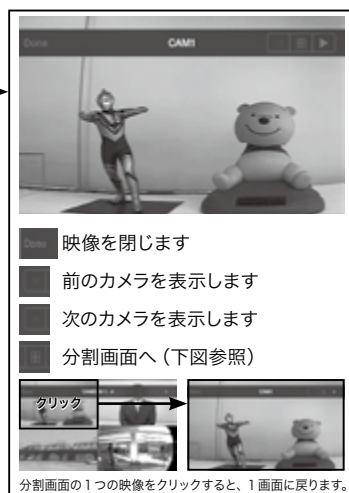
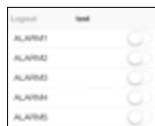
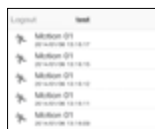


次ページに続きます

② 各ボタンの説明

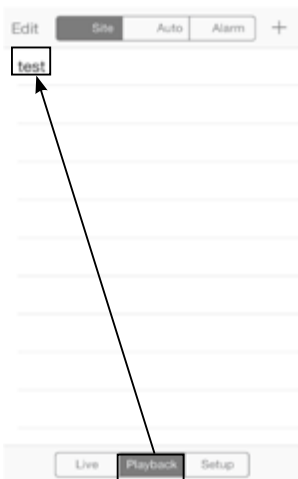


- (1) Logout 前の画面に戻ります
- (2) CAM1 カメラ名
- (3) Event イベントが表示されます
(イベント設定がされている時のみ)
- (4) Alarm アラーム通知操作ができます



3. プレイバック(録画) 表示

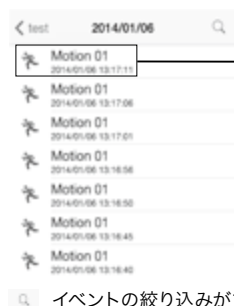
- ①画面下のメニューから Playback を選択後登録した Name をクリックします。



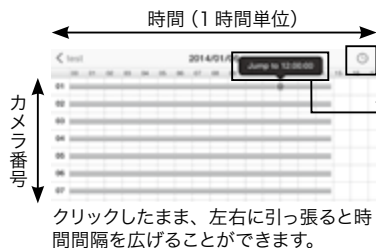
- ②録画されている日付が表示されます。
※イベントはイベント録画をしている場合のみ表示されます。



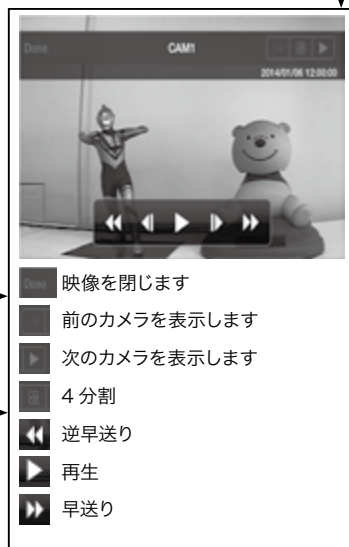
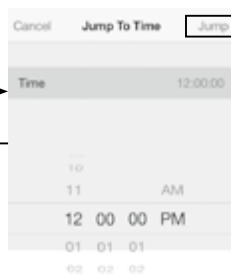
- (1) イベント検索



- (2) 日時検索(方法が2通りあります)
- a.【タイムバー検索】以下の画面から、表示するカメラと時間を選択し、その場所を長くクリックします。その後、"Jump to ~"と表示されたら、そこをクリックします。



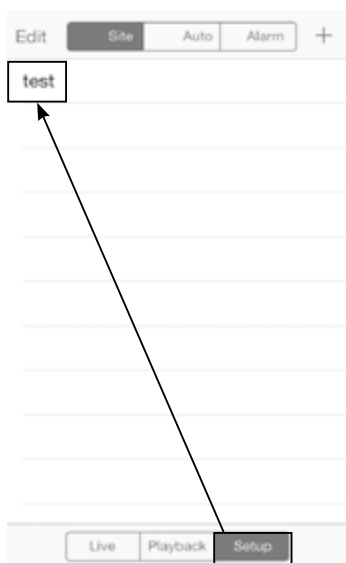
- b.【時刻検索】画面右上の ⌚ マークをクリックして、時間選択を表示します。その後、表示したい時間を選択し、画面右上の Jump をクリックします。



4. 設定

DVR の設定変更が行えます。(確実な録画を行うため、不必要な設定変更はおこなわないでください。)

- ① 画面下のメニューから Setup を選択
後登録した Name をクリックします。




- ② DVR の設定画面が開きます。



< Android >


1. インストール設定

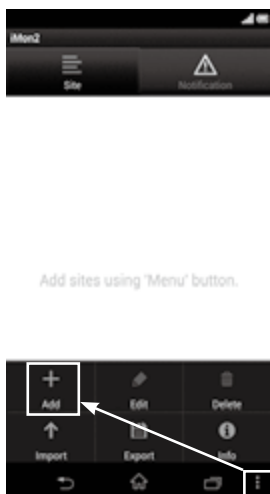
- ① Play ストア () を起動後、imon2 と入力し検索します。
- ② インストールボタンをクリックします。
- ③ アプリの権限に問題なければ、同意するボタンをクリックします。



④開くボタンをクリックします。




⑤右下の  ボタンをクリック後、Add ボタンをクリックします。



⑥ Name、Address、port(変更時のみ)を入力します。



⑦自動ログイン*を利用する場合は、Auto Login をON() にして、User Name、Passwordを入力します。



⑧ Push 通知*を利用する場合は、7. の画面で Push Notification をONして通知する内容を✓します。



⑨すべての入力が終わったら画面右下の Save ボタンをクリックします。



*自動ログイン

接続時の User Name、Password の入力を省略できます。

*Push 通知

選択した項目でイベントが発生すると、以下の様に表示されます。



2. ライブ表示

①登録した Name をクリックします。



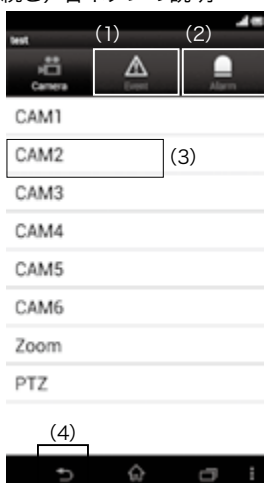
② DVR のカメラ名が表示されます。



③ 選択したカメラが表示されます。



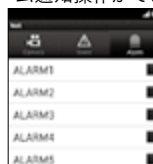
③ (続き) 各ボタンの説明



(1) イベントが表示されます
(イベント設定がされている時のみ)



(2) アラーム通知操作ができます



(3) クリックすると、
右のような画面になります

(4) DVR の接続を切ります



次ページに続きます

3. プレイバック (録画) 表示

①画面下のメニューから Playback を選択後登録した Name をクリックします。



②録画されている日付が表示されます。
※イベントはイベント録画をしている場合のみ表示されます。



(1) イベント検索



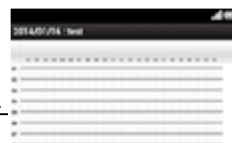
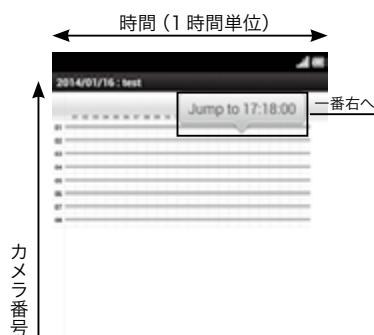
イベント検索が表示されたら、表示したいイベントをクリックします。

- イベントの絞り込みができます
- DVR の接続を切ります

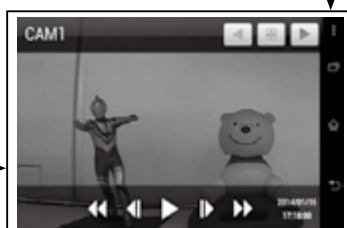
(2) 日時検索(方法が2通りあります)

a.【タイムバー検索】以下の画面から、表示するカメラと時間を選択し、その場所を長くクリックします。その後、"Jump to ~"と表示されたら、そこをクリックします。

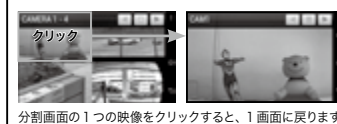
b.【時刻検索】画面右上の [時刻] マークをクリックして、時間選択を表示します。その後、表示したい時間を選択し、画面右上の Jump をクリックします。



クリックしたまま、左右に引っ張ると時間間隔を広げることができます。



- 前の画面に戻ります
- 前のカメラを表示します
- 次のカメラを表示します
- 逆早送り
- 再生
- 早送り
- 4 分割になります (下図参照)



分割画面の1つの映像をクリックすると、1画面に戻ります。

4. 設定

DVR の設定変更が行えます。(確実な録画を行うため、不必要な設定変更はおこなわないでください。)

①画面下のメニューから Setup を選択
後登録した Name をクリックします。



② DVR の設定画面が開きます。



16ch HDS4848E録画時間計算表 (1TB搭載時の総録画時間)

■CIF(352×240)

各カメラあたり	1ipsx16ch	2ipsx16ch	3ipsx16ch	4ipsx16ch	5ipsx16ch	6ipsx16ch	7ipsx16ch	8ipsx16ch	9ipsx16ch	10ipsx16ch	15ipsx16ch	30ipsx16ch
解像度 画質	16ips	32ips	48ips	64ips	80ips	96ips	112ips	128ips	144ips	160ips	240ips	480ips
CIF 最高	868.1	598.7	456.9	369.4	310	267.1	234.6	209.2	188.7	171.9	118.9	61.8
CIF 高	868.1	694.4	578.7	496	434	385.8	347.2	315.7	289.4	267.1	192.9	105.2
CIF 標準	868.1	754.8	667.7	598.7	542.5	496	456.9	423.4	394.6	369.4	280	162.3
CIF 中	868.1	789.1	723.4	667.7	620	578.7	542.5	510.6	482.3	456.9	361.7	222.6

■Half D1(704×240)

各カメラあたり	1ipsx16ch	2ipsx16ch	3ipsx16ch	4ipsx16ch	5ipsx16ch	6ipsx16ch	7ipsx16ch	8ipsx16ch	9ipsx16ch	10ipsx16ch	15ipsx16ch
解像度 画質	16ips	32ips	48ips	64ips	80ips	96ips	112ips	128ips	144ips	160ips	240ips
HD1 最高	434	299.3	228.4	184.7	115	133.5	117.3	104.6	94.4	85.9	59.5
HD1 高	434	347.2	289.4	248	217	192.9	173.6	157.8	144.7	133.5	96.5
HD1 標準	434	377.4	333.9	299.3	271.3	248	228.4	211.7	197.3	184.7	140
HD1 中	434	394.6	361.7	333.9	310	289.4	271.3	255.3	241.1	228.4	180.8

■D1(704×480)

各カメラあたり	1ipsx16ch	2ipsx16ch	3ipsx16ch	4ipsx16ch	5ipsx16ch	6ipsx16ch	7ipsx16ch
解像度 画質	16ips	32ips	48ips	64ips	80ips	96ips	112ips
D1 最高	217	149.7	114.2	92.3	77.5	66.8	58.7
D1 高	217	173.6	144.7	124	108.5	96.5	86.8
D1 標準	217	188.7	166.9	149.7	135.6	124	114.2
D1 中	217	197.3	180.8	166.9	155	144.7	135.6

8ch HDE2424E録画時間計算表 (1TB搭載時の総録画時間)

■CIF(352×240)

各カメラあたり	1ipsx8ch	2ipsx8ch	3ipsx8ch	4ipsx8ch	5ipsx8ch	6ipsx8ch	7ipsx8ch	8ipsx8ch	9ipsx8ch	10ipsx8ch	15ipsx8ch	30ipsx8ch
解像度 画質	8ips	16ips	24ips	32ips	40ips	48ips	56ips	64ips	72ips	80ips	120ips	240ips
CIF 最高	1736.1	1197.3	913.7	738.8	620	534.2	469.2	418.3	377.4	343.8	237.8	123.6
CIF 高	1736.1	1388.9	1157.4	992.1	868.1	771.6	694.4	631.3	578.7	534.2	385.8	210.4
CIF 標準	1736.1	1509.7	1335.5	1197.3	1085.1	992.1	913.7	846.9	789.1	738.8	560	324.5
CIF 中	1736.1	1578.3	1446.8	1335.5	1240.1	1157.4	1085.1	1021.2	964.5	913.7	723.4	445.2

■Half D1(704×240)

各カメラあたり	1ipsx8ch	2ipsx8ch	3ipsx8ch	4ipsx8ch	5ipsx8ch	6ipsx8ch	7ipsx8ch	8ipsx8ch	9ipsx8ch	10ipsx8ch	15ipsx8ch	30ipsx8ch
解像度 画質	8ips	16ips	24ips	32ips	40ips	48ips	56ips	64ips	72ips	80ips	120ips	240ips
HD1 最高	868.1	598.7	456.9	369.4	310	267.1	234.6	209.2	188.7	171.9	118.9	61.8
HD1 高	868.1	694.4	578.7	496	434	385.8	347.2	315.7	289.4	267.1	192.9	105.2
HD1 標準	868.1	754.8	667.7	598.7	542.5	496	456.9	423.4	394.6	369.4	280	162.3
HD1 中	868.1	789.1	723.4	667.7	620	578.7	542.5	510.6	482.3	456.9	361.7	222.6

■D1(704×480)

各カメラあたり	1ipsx8ch	2ipsx8ch	3ipsx8ch	4ipsx8ch	5ipsx8ch	6ipsx8ch	7ipsx8ch	8ipsx8ch	9ipsx8ch	10ipsx8ch	15ipsx8ch
解像度 画質	8ips	16ips	24ips	32ips	40ips	48ips	56ips	64ips	72ips	80ips	120ips
D1 最高	434	299.3	228.4	184.7	155	133.5	117.3	104.6	94.4	85.9	59.5
D1 高	434	347.2	289.4	248	217	192.9	173.6	157.8	144.7	133.5	96.5
D1 標準	434	377.4	333.9	299.3	271.3	248	228.4	211.7	197.3	184.7	140
D1 中	434	394.6	361.7	333.9	310	289.4	271.3	255.3	241.1	228.4	180.8

4ch HDF1212E録画時間計算表 (1TB搭載時の総録画時間)

■CIF(352×240)

各カメラあたり	1ipsx4ch	2ipsx4ch	3ipsx4ch	4ipsx4ch	5ipsx4ch	6ipsx4ch	7ipsx4ch	8ipsx4ch	9ipsx4ch	10ipsx4ch	15ipsx4ch	30ipsx4ch
解像度 画質	4ips	8ips	12ips	16ips	20ips	24ips	28ips	32ips	36ips	40ips	60ips	120ips
CIF 最高	3472.2	2394.6	1827.5	1477.5	1240.1	1068.4	938.4	836.7	754.8	687.6	475.6	247.1
CIF 高	3472.2	2777.8	2314.8	1984.1	1736.1	1543.2	1388.9	1262.6	1157.4	1068.4	771.6	420.9
CIF 標準	3472.2	3019.3	2670.9	2394.6	2170.1	1984.1	1827.5	1693.8	1578.3	1477.5	1120.1	649
CIF 中	3472.2	3156.6	2893.5	2670.9	2480.2	2314.8	2170.1	2042.5	1929	1827.5	1446.8	890.3

■Half D1(704×240)

各カメラあたり	1ipsx4ch	2ipsx4ch	3ipsx4ch	4ipsx4ch	5ipsx4ch	6ipsx4ch	7ipsx4ch	8ipsx4ch	9ipsx4ch	10ipsx4ch	15ipsx4ch	30ipsx4ch
解像度 画質	4ips	8ips	12ips	16ips	20ips	24ips	28ips	32ips	36ips	40ips	60ips	120ips
HD1 最高	1736.1	1197.3	913.7	738.8	620	534.2	469.2	418.3	377.4	343.8	237.8	123.6
HD1 高	1736.1	1388.9	1157.4	992.1	868.1	771.6	694.4	631.3	578.7	534.2	385.8	210.4
HD1 標準	1736.1	1509.7	1335.5	1197.3	1085.1	992.1	913.7	846.9	789.1	738.8	560	324.5
HD1 中	1736.1	1578.3	1446.8	1335.5	1240.1	1157.4	1085.1	1021.2	964.5	913.7	723.4	445.2

■D1(704×480)

各カメラあたり	1ipsx4ch	2ipsx4ch	3ipsx4ch	4ipsx4ch	5ipsx4ch	6ipsx4ch	7ipsx4ch	8ipsx4ch	9ipsx4ch	10ipsx4ch	15ipsx4ch
解像度 画質	4ips	8ips	12ips	16ips	20ips	24ips	28ips	32ips	36ips	40ips	60ips
D1 最高	868.1	598.7	456.9	369.4	310	267.1	234.6	209.2	188.7	171.9	118.9
D1 高	868.1	694.4	578.7	496	434	385.8	347.2	315.7	289.4	267.1	192.9
D1 標準	868.1	754.8	667.7	598.7	542.5	496	456.9	423.4	394.6	369.4	280
D1 中	868.1	789.1	723.4	667.7	620	578.7	542.5	510.6	482.3	456.9	361.7

FCC の承諾通知：

本機器は FCC 規制パート 15 クラス A、デジタル機器の規制基準に従いテストされ準拠しております。
本機器はこの規制に従い工業地域や商業地域での使用を前提として設計されております。
機器内部では高周波が発生しておりますので、マニュアルに従わずに取り付けたり使用された場合は無線通信に有害な妨害が発生します。本機器を住宅地に設置したり使用して有害な妨害が発生した場合は、お客様の責任で対策して下さい。

警告：変更や改造を加えて使用された場合、規制基準には準拠しなくなりますので、問題発生時には全てお客様ご自身の責任となります。このクラスのデジタル装置は、カナダの設備規則に関する必要条件を満たしています。

WEEE (Waste Electrical & Electronic Equipment)

商品の正しい処分法（適切なヨーロッパ連合と他の欧州諸国での分別収集システム）



このマークは、製品または印刷物上にあり、他の家庭用の廃物と一緒に処分するべきではない事を示します。廃物処分による環境また人体への害を出来る限り防ぐために、他のタイプの廃物またリサイクルの分別にご協力下さい。

家庭ユーザーは、環境面で安全な再生処置の詳細のために、この製品を購入した小売業者または地方自治体オフィスにご連絡下さい。

産業使用者は供給者にご連絡を取り、購買契約に関する条件を確認して下さい。処分のために他の商業廃物にこの製品を混ぜるべきではありません。

ROHS コンプライアンス



メモ

ネットワーク設定

項 目	設定値
グローバルアドレス (固定 IP アドレス)	• • •
ローカル IP アドレス	• • •
DDNS アドレス	.autoipset.com
ポート番号	
サブネットマスク	• • •
ゲートウェイ	• • •
ネットワークパスワード	
備考	

ルーター設定 ルーター ID(初期値)例：admin,administrator,root

項 目	設定値
ID	
パスワード	
グローバルアドレス (固定 IP アドレス)	• • •
ローカル IP アドレス	• • •
サブネットマスク	• • •
ゲートウェイ	• • •
備考	

autoipset.com 設定 (<http://www.autoipset.com>)

ユーザー ID	
パスワード	

販売代理店